

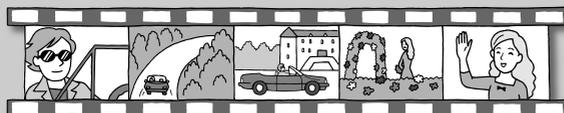
MPEGCraft 3 DVD ユーザーズマニュアル

canopus

F095602141

DVD-Videoを作ろう

Step 1 映像を追加する (P28)



DVDメディア・デジタルビデオ・動画ファイルから、映像を取り込みます。映像は、複数取り込むことができます。



Step 2 不要な映像をカットする(トリミング)(P35)



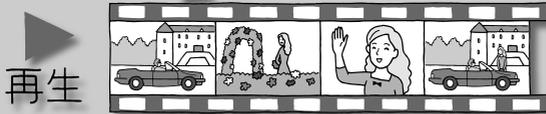
映像の不要な部分をカットし、必要な部分だけをつなぎ合わせることができます。



※トリミングをしなくても、映像を出力できます。

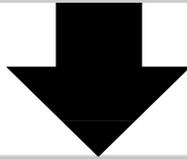


Step 3 チャプターを設定する (P40)

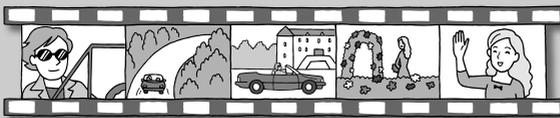


映像に目印(チャプター)を設定します。DVDメディアを再生するとき、チャプターを入れた箇所から再生することができます。

※チャプターを設定しなくても、映像を出力できます。



Step 4 作成した映像を出力する (P42)



映像を記録します。DVDメディアに記録するときは、再生時に表示させるメニューを設定することができます。



ご注意

- (1) 本製品の一部または全部を無断で複製することを禁止します。
- (2) 本製品の内容や仕様は将来予告無しに変更することがあります。
- (3) 本製品は内容について万全を期して作成いたしましたですが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどお気付きの点がございましたら、当社までご連絡ください。
- (4) 運用した結果については、(3)項にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。
- (5) ご使用上の過失の有無を問わず、本製品の運用において発生した逸失利益を含む特別、付随的、または派生的損害に対するいかなる請求があったとしても、当社はその責任を負わないものとします。
- (6) 本製品付属のソフトウェア、マニュアル、その他添付物を含めたすべての関連製品に関して、解析、リバースエンジニアリング、デコンパイル、ディスアセンブリを禁じます。
- (7) カノープス、CANOPUS/カノープスおよびそのロゴ、MpegCraft、EDIUSは、カノープス株式会社の登録商標です。
- (8) Microsoft、Windowsは米国マイクロソフト・コーポレーションの登録商標です。
- (9) QuickTimeは、米国Apple Computer, Inc.の登録商標です。
- (10) Adobe、Adobeロゴ、Adobe Reader、Adobe Premiereは、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社)の商標です。
- (11) AMD、AMD Arrowロゴ、Sempron、Turion、Athlon、AMD Duronならびにその組み合わせは、Advanced Micro Devices, Inc.の商標です。
- (12) Intel、Pentium、Celeronは、米国およびその他の国におけるインテルコーポレーションまたはその子会社の商標または登録商標です。
- (13) HDVおよび、HDVロゴはソニー株式会社と日本ビクター株式会社の商標です。
- (14)  Dolby、ドルビーおよびダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
- (15) その他、商品名やそれに類するものは各社の商標または登録商標です。



表記について

- 本書に記載されていない情報が記載される場合がありますので、ディスクに添付のテキストファイルも必ずお読みください。
- 本書での説明と実際の運用方法とで相違点がある場合には、実際の運用方法を優先するものとします。
- 本書はパソコンの基本的な操作を行うことができる方を対象に書かれています。特に記載の無い操作については、一般的なパソコンの操作と同じように行ってください。
- 本書ではMicrosoft® Windows® XP operating systemをWindows XP (Home Edition、ProfessionalおよびProfessional x64 Editionの総称)と表記します。



警告

■ 健康上のご注意

ごくまれに、コンピュータのモニタに表示される強い光の刺激や点滅によって、一時的にてんかん・意識の喪失などが引き起こされる場合があります。こうした経験をこれまでになされたことがない方でも、それが起こる体質をもっていることも考えられます。こうした経験をお持ちの方や、経験をお持ちの方の血縁にあられる方は、本製品を使用される前に必ず医師と相談してください。

■ 著作権について

テレビ放送やビデオなど、他人の作成した映像/音声をキャプチャしたデータは、動画、静止画に関わらず個人として楽しむ以外は、著作権法上、権利者に無断では使用できません。また、個人として楽しむ目的であっても複製が制限されている場合があります。キャプチャしたデータのご利用に対する責任は当社では一切負いかねますのでご注意ください。

MPEGCraft 3 DVD
ユーザーズマニュアル
February 16, 2006

Copyright © 2006 Canopus Co., Ltd.
All rights reserved.

目次

第 1 章	インストールする前に	1
1-1	必ず確認すること	2
	使用許諾契約書	2
	ご使用に当たっての留意事項	2
	パッケージ内容	3
	■MPEGCraft 3 DVD付属品(パッケージ版)	3
	■ダウンロード版について	3
	サポートについて	4
	個人情報の取扱いについて	4
	当社ホームページ	4
	製品のお問い合わせ窓口について	5
1-2	動作環境の再確認	6
	パソコン本体	6
	■必要な動作環境	6
	対応OS	6
1-3	それぞれのソフトウェアでできること	7
第 2 章	パソコンにインストールしよう	9
2-1	ソフトウェアをインストールしよう	10
	■MPEGCraft 3 DVDのインストール(新規インストール)	10
	■MPEGCraft 3 DVDのインストール(アップグレード版)	14
2-2	ソフトウェアを削除するときは	15
第 3 章	DVDムービーファイルを作ろう	19
3-1	注意事項	20
	使用できるファイル	20
	制限事項	20
	注意事項	20
	DVDに記録(書き込む)する場合のご注意	21
	便利な機能	22
	マークの設定	24
	[先頭を残す]メニューについて	25
	編集画面の環境設定	26
3-2	映像を追加する	28

	ファイルから映像を取り込む	28
	DVD-Videoから映像を取り込む	30
	HDVカメラからキャプチャ	32
3-3	不要な映像をカットする(トリミング)	35
	カット位置を簡単に探す	38
3-4	チャプターを設定する	40
3-5	作成した映像を出力する	42
	メニューのないDVD-Videoを作成する	42
	メニュー付きのDVD-Videoを作成する	45
	MPEGファイルとして保存する	51
	あとでまとめてエンコードする(バッチエンコード)	54
	プロジェクトを保存する	57
	HDVカメラへ書き出し	58
3-6	操作画面	60
	編集画面	60
	■メニュー	60
	■ツールバー	65
	■フレームビュー	66
	■波形ビュー	67
	■スライダービュー	67
	■ピクチャリスト	69
	■ムービーリスト	70
	■マークリスト	71
	■チャプターリスト	71
	■バッチリスト	72
	■ステータスバー	72
	DVD取り込みダイアログ	73
	ソースファイル設定ダイアログ	74
	■必要な箇所のみ再エンコード時の出力パラメータ	76
	■全体を再エンコード時の出力パラメータ	77
	■GOP単位での編集の出力パラメータ	79
	DVD設定ダイアログ	80
	バッチエンコードダイアログ	82
	オプションダイアログ	84
	■表示	84
	■出力	85
	■操作	86
	■時間	86
	■キャプチャ	87
	■その他	87

第4章 MPEGファイルへ変換しよう 89

4-1 注意事項.....	90
使用できるファイル	90
制限事項	90
注意事項	90
分離化と多重化とは	90
4-2 DV形式をMPEG形式へ変換する	91
4-3 MPEGファイルの映像と音声を分離する	94
4-4 MPEGファイルの映像と音声を多重化する	97

第5章 MPEGファイルの情報を確認しよう ... 101

5-1 注意事項.....	102
表示できるファイル	102
注意事項.....	102
5-2 MPEGファイルの詳細を確認する	103

第6章 付録..... 105

6-1 拡張子一覧.....	106
6-2 用語解説.....	107
6-3 ショートカット一覧	110
6-4 FAQ	113



第 1 章

インストールする前に

パソコンにMPEGcraft 3 DVDをインストールする前に、本章の内容を確認してください。

本章には、MPEGcraft 3 DVDをお使いいただく上で知っておいていただきたいことや、MPEGcraft 3 DVDのサポート、動作環境などについて記載しています。

- 1-1 必ず確認すること
- 1-2 動作環境の再確認
- 1-3 それぞれのソフトウェアでできること

1-1 必ず確認すること

使用許諾契約書

本製品をご利用いただくには、この使用許諾契約書の内容にご同意いただく必要があります。ソフトウェアのセットアップ時に表示される使用許諾契約にご同意いただけない場合や、ご不明な点がございましたら、インストールを中止して、下記カスタマーサポートまで書面にてご連絡ください。

このソフトウェア使用許諾契約は、お客様がインストールを完了された時点で内容にご同意いただいたものとさせていただきます。

カノーブスカスタマーサポート

〒651-2241 神戸市西区室谷 1-2-2 カノーブス株式会社 カスタマーサポート宛

ご使用に当たっての留意事項

ご使用上の過失の有無を問わず、本製品の運用において発生した逸失利益を含む特別、付随的、または派生的損害に対するいかなる請求があったとしても、当社はその責任を負わないものとします。

製品本来の使用目的及び、当社が提供を行っている使用環境以外での動作は保証いたしかねます。CPUなどを定格外でご使用の場合、本製品の動作保証は一切いたしかねます。

本製品を使用して他人の著作物（例：CD・DVD・ビデオグラム等の媒体に収録されている、あるいはラジオ・テレビ放送又はインターネット送信によって取得する映像・音声）を録音・録画する場合の注意点は下記の通りとなります。

- 著作権上、個人的又は家庭内において著作物を使用する目的で複製をする場合を除き、その他の複製あるいは編集等が著作権を侵害することがあります。収録媒体等に示されている権利者、放送、送信、販売元または権利者団体等を介するなどの方法により、著作権者から許諾を得て複製、編集等を行う必要があります。
- 他人の著作物を許諾無く複製または編集して、これを媒体に固定して有償・無償を問わず譲渡すること、またはインターネット等を介して有償・無償を問わず送信すること（自己のホームページの一部に組み込む場合も同様です）は、著作権を侵害することになります。
- 本製品を使用して作成・複製・編集される著作物またはその複製物につきましては、当社は一切責任を負いかねますので予めご了承ください。
- 本製品を当社の許可なく譲渡、または再販することは、著作権の侵害となります。

パッケージ内容

パッケージの中に以下の付属品が入っていることを確認してください。製品の梱包には万全を期しておりますが、万一不足しているものがありましたら、下記カスタマーサポートまでご連絡ください。

カノープスカスタマーサポート

電話: 078-992-5846 (※月曜～金曜 10:00～12:00/13:00～17:00 土日祝日および当社指定休日を除く)

■ MPEGCraft 3 DVD付属品（パッケージ版）

※バンドル版などパッケージモデルにより付属品は異なります。

ディスク

マニュアル

・MPEGCraft 3 DVDユーザーズマニュアル(本書)

本書は、MPEGCraft 3 DVDの基本的な操作方法について説明しています。

ユーザー登録カード・ユーザー登録控え

本製品のユーザーサポートは登録ユーザー様を対象としております。サポートをお受けいただくために、ユーザー登録を必ず行ってください。ご登録されていない場合は、ユーザーサポートをお受けいただけません。

ユーザー登録カードの各項目に必要な事項を記入し、ユーザー控えの部分を切り離して投函してください。切り離したユーザー控えは、ご購入された製品の所有者であることを証明するものになりますので、本書と併せて大切に保管してください。また、本製品は当社ホームページにおいてオンラインユーザー登録も承っております。

詳しくはオンラインユーザー登録ページ (<http://www.canopus.co.jp/tech/regist.htm>) をご覧ください。

シリアルナンバーシート

本製品をインストール（または再インストール）する際に入力するシリアル番号を記載しています。マニュアルとともに大切に保管してください。

■ ダウンロード版について

・マニュアルはPDF形式です。

・シリアルナンバーは当社からのメールに記載されています。

サポートについて

本製品のユーザーサポートは登録ユーザー様を対象としております。サポートをお受けいただくために、ユーザー登録を必ず行ってください。ご登録されていない場合は、ユーザーサポートをお受けいただけません。

同梱されている各製品の保証(サポート)期間は次のとおりです。

- MPEG Craft 3 DVD(当社製アプリケーションソフトウェア)

無償サポートは、ユーザー登録完了後のお問い合わせ時にサポート開始の同意を得られた後より90日間となります。

*91日以降の有償サポートの形態については、「重要・ソフトウェアサポートについてのお知らせ」、もしくは当社ホームページをご覧ください。

⚠️ ご注意

サポートについてのお知らせは、PDFファイルでCD-ROMの[Manual]フォルダ内の[JP]フォルダに収録されています。

- ソフトウェアについて

「重要・ソフトウェアサポートについてのお知らせ V1.1.pdf」

PDFファイルをご覧になるには、Adobe Readerが必要です。お使いのパソコンにAdobe Readerがインストールされていない場合は、CD-ROMの[Acrobat]フォルダから、[AcbeRdr70_jpn_full.exe]を実行してください。Adobe Readerがインストールされます。

個人情報の取扱いについて

当社では、原則として①ご記入いただいたお客様の個人情報は下記の目的以外では使用せず、②下記以外の目的で使用する場合は事前に当該サービス上にてお知らせします。

当社ではご記入いただいた情報を適切に管理し、特段の事情がない限りお客様の承諾なく第三者に開示・提供することはありません。

- (1) ご利用の当社製品のサポートの実施
- (2) 当社製品の使用状況調査、製品改良、製品開発、サービス向上を目的としたアンケートの実施
*調査結果を当社のビジネスパートナーに参考資料として提供することがありますが、匿名性を確保した状態で提供します。
- (3) 銀行口座やクレジットカードの正当性、有効性の確認
- (4) ソフトウェアのバージョンアップや新製品の案内などの情報提供
- (5) 懸賞企画などで当選された方やお客様への賞品の発送

*お客様の個人情報の取扱いに関するご意見、お問合せは<http://www.canopus.co.jp/info/>までご連絡ください。

当社ホームページ

本製品をはじめとする当社最新情報をホームページ(<http://www.canopus.co.jp>)にて発信しています。当社製品の最新のドライバ、ユーティリティ、アプリケーション、製品マニュアル(PDF形式)、FAQなどを公開していますので、当社ホームページには是非アクセスいただき、快適なパソコン環境を実現してください。

製品のお問い合わせ窓口について

ご使用方法や、このマニュアルについて不明な点、疑問点などがございましたらカノープス株式会社テクニカルサポートまでお問合せください。

お問合せの前には必ず以下の内容をご準備の上、お問合せください。

- (1) ご使用になっておられるPCの名称型番
 - ・メーカー製の場合→メーカー名と型番
 - ・自作、オーダーメイドの場合→マザーボード型番、CPU、チップセット、サウンドボード、グラフィックボード
- (2) オペレーティングシステム(Windowsなど)のバージョン
- (3) ハードディスクの容量、メモリの容量
- (4) 他に取り付けられている拡張ボードのメーカー名と製品名
- (5) 周辺機器があればそのメーカー名と製品名
- (6) 他に併用している当社製品があれば製品名とバージョン番号

本製品のお問い合わせは、下記の窓口にて受け付けております。電話番号は、お間違えのないようにおかけください。

テクニカルサポート窓口 TEL078-992-6830

〒651-2241 神戸市西区室谷1-2-2

カノープス株式会社 テクニカルサポート宛

10:00～12:00 / 13:00～17:00

(土日祝日、当社指定休日は除く)

※製品の使用方法など技術的相談に関するご質問承り窓口です。

テクニカルメールサポート

※テクニカルメールサポートにつきましては、製品をご登録いただきました後にメールにて窓口をご案内させていただきます。

カスタマーサポート窓口 TEL078-992-5846

〒651-2241 神戸市西区室谷1-2-2

カノープス株式会社 カスタマーサポート宛

10:00～12:00 / 13:00～17:00

(土日祝日、当社指定休日は除く)

※ユーザー登録のご確認や保守部品に関するご質問承り窓口です。

カスタマーメールサポート

<http://www.canopus.co.jp/info/>

サポート & サービス[FAQ]ページ

<http://www.canopus.co.jp/tech/faq/faq.htm>

1-2 動作環境の再確認

本製品をお使いいただく前に、パソコン本体がMPEG-Craft 3 DVDをインストールしてお使いいただけるものであることを確認してください。

パソコン本体

以下の条件を満たしている場合でも、パソコン本体の問題によって正常に動作しない場合があります。以下の条件を満たしているすべてのパソコンでの動作を保証しているものではありません。

■ 必要な動作環境

本製品をお使いいただくために最低限必要な環境です

- CPU : Intel Pentium III, Intel Pentium 4, Pentium D, Pentium M, Celeron, Celeron D
AMD, Sempron, Turion, Athlon64, Athlon64 X2, AthlonXP, Duran, 等
HDV 編集にはPentiumD もしくはデュアルコア環境を推奨
- メモリ : 128MB以上 (256MB以上を推奨)
- ハードディスク : 編集するファイルの2倍以上の空き容量
- その他
 - ソフトウェアのインストールにCD-ROMを読み込み可能なドライブが必要 ※ダウンロード版には不要です。
 - オーサリング機能を使用するにはDVD-R/DVD-RW、DVD+R/DVD+RW、DVD-RAMへ書き込み可能なドライブが必要
 - DVD再生にDVDドライブ、DVD作成に記録型DVDドライブとメディアが必要
※MMC準拠のDVD-R/RW、DVD+R/RW、2層メディアへの記録にも対応
 - HDVビデオのキャプチャ/書き出しにはIEEE1394(OHCI)が必要
 - インターネット接続可能な環境が必要 (ソフトウェアのアップデート、サポートをお受けいただくのに必要)

対応OS

- Windows XP Home Edition/Professional 日本語版 (SP2以降)
- Windows XP Professional x64 Edition 日本語版

1-3 それぞれのソフトウェアでできること

MPEGCraft 3 DVDをインストールすると3つのアプリケーションソフトウェアがインストールされます。それぞれのソフトウェアでは次のことができますので、用途に応じて使い分けるようにしてください。



MPEGCraft 3 DVD

HDVカメラ(HDV 1080i)からMPEG TS形式でビデオをキャプチャし、ファイルをトリミングした後再びHDVカメラに書き出すことができます。

ハードディスクビデオカメラの場合は、カメラをパソコンに接続すると、外付けのハードディスクとして認識します。パソコン上の動画ファイルと同じように選択することができるので、変換(転送)先をパソコンにすれば、簡単に動画ファイルの移動(同時に変換も)を行うことができます。

DVDビデオカメラで撮影したDVD-VR形式の動画も、DVDメディアをドライブに挿入すれば、DVD-Videoと同じように読み出せます。

DVD-R/DVD-RW/DVD+R/DVD+RW/DVD-RAMへの書き出しをサポートし(DVD-RWのDVD-VRにも対応)、DVD書き出しウィザードにしたがって簡単に編集したMPEGファイルをDVDメディアへ記録できます。チャプター設定機能により必要な場面からの再生も可能です。

Dolby Digitalに対応し、主要なDVDレコーダー、DVDカムコーダーにより作成したDVDディスクを編集することができます。

フレーム単位やGOP単位でMPEGファイルをカット編集することができます。また、複数のMPEGファイルを結合して出力することもできます。

使用できるMPEGファイルは音声と映像が多重化されたもの(MPEG1システムストリームとMPEG2プログラム、VOBストリーム)です。

※VOBファイルによっては扱えないファイルがあります。

Check!

「2-1 ソフトウェアをインストールしよう」P10

! ご注意

- ・エレメンタリストリーム(映像と音声が多重化されていないもの)の編集はできません。
- ・VideoCDで出力するときは、以下のオーディオファイルを使用してください。
サンプリングレート: 44.1kHz
ビットレート : 224kbps
- ・ファイルをDVDメディアに記録するには、別途DVDライター(ドライブ)が必要です。



to MPEG Tool

MPEG ファイルのビットレートを変換したり、Canopus DV形式やMicrosoft DV形式のAVIファイルをMPEGファイルに変換することができます。また、MPEGファイルの音声と映像を分離したり、多重化することができます。



HomeEdge Explorer

ファイル管理ソフトウェアです。MPEGファイルの詳細情報を一覧表示したり、プレビュー画面で簡易再生することができます。

ご注意

- Dolby Digitalは未対応です。



第2章

パソコンにインストールしよう

～インストールとアンインストール～

本章では、MPEGcraft 3 DVDのセットアップ・削除方法を記載しています。

2-1 ソフトウェアをインストールしよう

2-2 ソフトウェアを削除するときは

2-1 ソフトウェアをインストールしよう

アプリケーションソフトウェアをインストールする手順を説明します。

■MPEGCraft 3 DVDのインストール（新規インストール）

操作する前に

- インストール作業を行う場合は、システム設定の変更を行える権限を持つユーザー ID(Administrator、コンピュータの管理者等)でログオンしてください。
- インストール作業を行う前に、現在起動しているすべてのアプリケーションソフトウェアや常駐ソフトウェアを終了してください。

- 1 CD-ROMをドライブにセットします。
→ CD-ROMが自動的に起動し、次の画面が表示されます。



⚠ ご注意

すべてのインストールが終了するまで、CD-ROMをドライブから取り出さないでください。

⚠ ご注意

アップグレード版をインストールする場合は、「MPEGCraft 3 DVDのインストール（アップグレード版）」（P14）の手順にしたがって操作してください。

📎 知識

CD-ROMが自動起動しない場合は、エクスプローラーなどでCD-ROMを挿入したドライブを選択し、[MPEGCraft3DVD]フォルダ内の[setup.exe]をダブルクリックしてください。

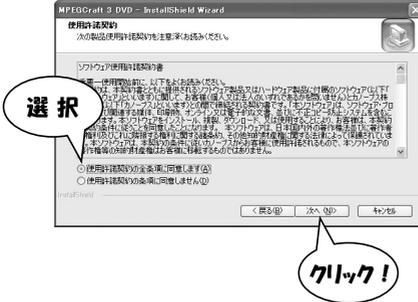
- 2 [次へ]をクリックします。



📎 知識

ダウンロード版は、解凍して作成されたセットアップファイル[Setup.exe]をダブルクリックしてください。

- 3** 使用許諾契約書が表示されますので内容をよくお読みの上、同意される場合のみ[使用許諾契約の全条項に同意します]を選択し、[次へ]をクリックします。



- 4** ユーザ名、会社名、シリアル番号を入力し、[次へ]をクリックします。



- 5** [次へ]をクリックします。



! ご注意

使用許諾契約に同意されない場合は[使用許諾契約の条項に同意しません]をクリックし、インストール作業を中断して当社カスタマーサポートまで書面にてご連絡ください。

! ご注意

シリアル番号は必ず入力してください。

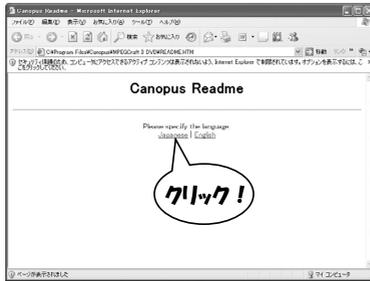
知識

- ・シリアル番号は、シリアルナンバーシートに記載されています。
- ・ダウンロード版のシリアル番号は、当社からのメールに記載されています。

知識

インストール先のフォルダを変更するときには、[変更]をクリックし保存するフォルダを指定してください。

9 [Japanese]をクリックします。



10 Readmeの内容を確認し、[×]をクリックします。



11 [完了]をクリックします。



! ご注意

インストールが完了したあとは、ユーザー登録を行ってください。お使いのパソコンでインターネットに接続できない場合は、オンライン登録ができません。同梱のはがきで登録するか、インターネットが使えるパソコンで当社ホームページにアクセスし、オンライン登録を行ってください。ユーザー登録をされていない場合は、ユーザーサポートをお受けいただけません。

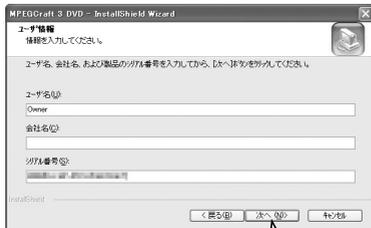
! ご注意

インストール後はコンピュータを再起動してください。

■MPEGCraft 3 DVDのインストール（アップグレード版）

1 P10の手順1～P11の手順3の操作を行います。

2 ユーザー名、会社名、MPEGCraft 3 DVDアップグレード版のシリアル番号を入力し、[次へ]をクリックします。



3 MpegCraft 2 DVDのシリアル番号を入力し、[次へ]をクリックします。



4 P11の手順5以降の操作を行います。



知識

- シリアル番号は、シリアルナンバーシートに記載されています。
- ダウンロード版のシリアル番号は、当社からのメールに記載されています。

2-2 ソフトウェアを削除するときは

アプリケーションソフトウェアを使用しなくなった場合には、削除（アンインストール）することができます。また、ソフトウェアのアップデートを行う場合は、現在のソフトウェアを削除してから新しいソフトウェアをインストールしてください。

操作する前に

- 削除する場合には、システム設定の変更を行える権限を持つユーザー ID（Administrator、コンピュータの管理者等）でログオンしてください。
- 削除を開始する前には、現在起動しているアプリケーションソフトウェアや常駐ソフトウェアを終了してください。

- 1 [スタート]メニューから[コントロールパネル]をクリックします。



- 2 [プログラムの追加と削除]をクリックします。



3 [MPEGCraft 3 DVD]を選択し、[変更と削除]をクリックします。



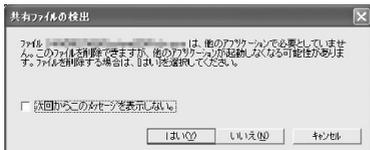
4 [削除]を選択し、[次へ]をクリックします。
→ ファイル削除確認のメッセージが表示されます。



5 [はい]をクリックします。
→ 削除を開始します。



削除中に次の画面が表示された場合は、ご自分の環境に合わせて[はい]、もしくは[いいえ]をクリックします。



! ご注意

当社製アプリケーションを他にご使用の場合は[いいえ]を選択してください。

6 削除が完了すると次の画面が表示されますので、[完了]をクリックします。



知識

アンインストール後はコンピュータを再起動してください。

2-2

ソフトウェアを削除するときは





第3章

DVDムービーファイルを作ろう

～MPEGcraft 3 DVD～

本章では、DVDムービーファイルの映像をフレーム単位でカット編集ができるMPEGcraft 3 DVDについて説明します。MPEGcraft 3 DVDを使用すると、不要な映像をカットしたり複数のDVDムービーファイルの映像を結合し、出力することができます。

- 3-1 注意事項
- 3-2 映像を追加する
- 3-3 不要な映像をカットする（トリミング）
- 3-4 チャプターを設定する
- 3-5 作成した映像を出力する
- 3-6 操作画面

3-1 注意事項

使用できるファイル

- MPEG1システムストリームとMPEG2プログラムストリーム（映像と音声が入った1つのファイルになっているもの）、MPEG2トランスポートストリーム（HDVフォーマット）、VOB映像：フレームレートが「25（PAL方式のテレビ放送）」、「29.97（日本の一般的なテレビ放送-NTSC方式-）」、「30」のファイル
音声：MPEG1レイヤ2
 リニアPCM
 Dolby Digital

制限事項

- 次のファイルは、本製品で結合することができません。
 - ・フレームレートが異なる複数のファイル
- 編集したあと、MPEGの性質上、次の不具合が発生することがあります。オリジナルファイルは必ず保存しておいてください。
 - ・編集後のファイルが他のアプリケーションソフトウェア等で使用できない。
 - ・カットしたシーンで音声が途切れる、または雑音が発生する。
 - ・再生装置（デコーダ）によって映像と音声がずれる。
- お使いのパソコンのHDDフォーマットがFAT32の場合、4GB以上のファイルは出力できません。
- フレームレートが「25」「29.97」「30」以外の場合、ハードウェアエンコーダを選択していても、ソフトウェアエンコーダで処理されます。
- Dolby Digitalではない音声を1ch、もしくは2ch以外のDolby Digitalへコンバートする機能はありません。

注意事項

- 映像のビットレートが1,000 kbps未満のときは、ビットレートを1,000 kbpsに設定し、全エンコードしなさい。
- 映像がMPEG1のVBR形式のときは、最大ビットレートを1,856 kbps、平均ビットレートを1,000 kbpsに設定し、全エンコードしなさい。
- 部分エンコードまたは全エンコードの出力パラメータ設定を「以下のファイル形式で出力する」で出力する時、選択されたムービーファイルがHDVフォーマットの場合は、ハードウェアエンコーダを選択しても、ソフトウェアエンコーダで処理されます。
- HDVフォーマットの出力は1080iのみです。

DVDに記録(書き込む)する場合のご注意

●出力ファイルが、DVDメディアの容量を超える場合

DVD-Video形式の正確なファイル容量は、すべて出力しなければわかりません。そのためファイル容量を概算し、その値がDVDメディアの容量を超える場合は警告メッセージを表示します。また、出力ファイルがDVDメディアに記録する時点でDVDメディアの容量を超えていた場合は、記録はされません。

●ビデオストリームの制限

[ビデオ解像度]

MPEG1 NTSC 352 × 240

PAL 352 × 288

MPEG2 NTSC 720 × 480, 704 × 480, 352 × 480, 352 × 240

PAL 720 × 576, 704 × 576, 352 × 576, 352 × 288

[フレームレート]

NTSC 29.97 fps

PAL 25 fps

MPEG TS (HDVフォーマット) は1080/60i 50iのみ

[ビットレート]

MPEG1 1856000 bps 以下

MPEG2 9800000 bps 以下

※以上の値はビデオストリームのみの場合の最大値です。実際にはビデオストリーム、オーディオストリーム、ナビゲーションストリームを合計した(プログラムストリームとして)ビットレートは10080000 bpsが最大値となります。MPEG2 Craft 3 DVDは必ずビデオストリームとオーディオストリームを1つずつ含むため、これらを合計したビットレートが約9800000 bps以下になるように最大値を選択してください。

[アスペクト比]

MPEG1 4:3

MPEG2 4:3 または 16:9

※ただし、水平解像度が352の場合、4:3のみとなります。

[プロファイル、レベル](MPEG2のみ)

Main Profile & Main Level

Simple Profile & Main Level

[GOPピクチャ枚数]

NTSC 最大 18 フレーム

PAL 最大 15 フレーム

●DVDへの書き込み機能について

・制限事項

[最低 1GB 書き込む]

1GB 未満のデータを書き込む場合に、1GB のデータを書き込むのと同じ時間がかかることがあります。これはDVDメディアの規格で定義されている制限事項です。また、DVDドライブの規格(MtFuji)にも定義されていて、DVDドライブの機能により最低 1GB のデータを書き込むものです。この制限事項はDVDドライブの種類に依存します。

[書き込みをすぐに中断できない]

[最低 1GB 書き込む]の制限により、1GB未満のデータを書き込みを中断しても、DVDドライブの機能による1GBのデータを書き込みする時間がかかります。

[DVD-VRの再生互換性]

VRモードで録画したDVD-RW ディスクは、VR対応の再生機器（例えば「RW COMPATIBLE」と表記のあるDVDプレーヤー）にて再生が可能です。

また、BSデジタルや地上デジタル放送などの「1回だけ録画可能」な番組を録画したDVD-RWディスクは、OPRM対応のDVD機器で再生が可能です。

参考URL: <http://www.rwppi.com/compati/index-j.html>

本製品で書き込みできるDVD規格

対応メディア	書き込み形式	
	DVD-Video	DVD-VR
DVD-R	○	
DVD-RW	○	○
DVD-RAM		○
DVD+R	○	
DVD+RW	○	
DVD-R DL	○	
DVD+R DL	○	

● 便利な機能

●パターンファイルとは

パターンファイルとは、マークが設定されている位置情報だけを保存したファイルです（→「マークの設定」P24参照）。

同じようなマークの設定をするファイルを複数編集する場合などに有効です。

●オーディオ補正について

オーディオ補正とは、映像と音声を、指定した時間分だけずらす処理のことです。この処理は、ファイルのエンコード時に行われます。GOP編集では行われません。また、オーディオの再エンコードを選択しなくてもこの処理は行われます。

設定できる値は、「プロジェクト全体での値」「ファイル全体での値」「マーク範囲での値」の3種類です（値の単位はms）。

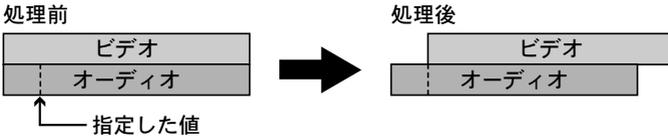
「プロジェクト全体での値」は、プロジェクト内のすべてのファイルの全区間に適用されます。

「ファイル全体での値」は、そのファイルの全区間に適用されます。

「マーク範囲での値」は、その値が設定されたマークから次のマークまで（次がなければファイルの最後まで）の区間に適用されます。対象となる区間がカットされる区間の場合は何も行われません。

それぞれの値は、各区間において、3つの値を合計したものが適用されます。

設定された値によって、以下のように処理されます。



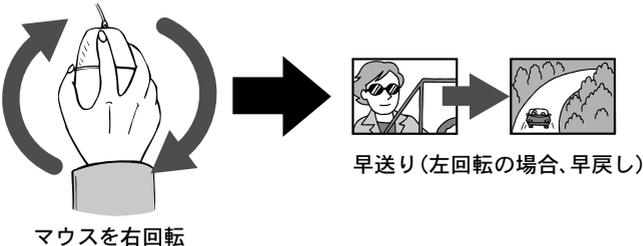
正の値を設定すると、上の図のように音が先行します。逆に負の値を設定すると、音が後ろにずれます。

音声のみだした分はカットされ、足りない部分には無音を設定されます。

●マウスジェスチャ機能

編集画面上にマウスを置き、左クリックしながら回転させることで、早送り/早戻しの操作ができます。

右回転で早送り、左回転で早戻しとなります。



●クリッピング

クリッピングとは、映像の上下左右を切り抜き不要な部分を塗りつぶしたり、映像の真ん中の必要な映像部分を拡大する機能です。

ムービーの保存ダイアログの[編集方法]で、「全体を再エンコード」を選択した場合に設定できます。

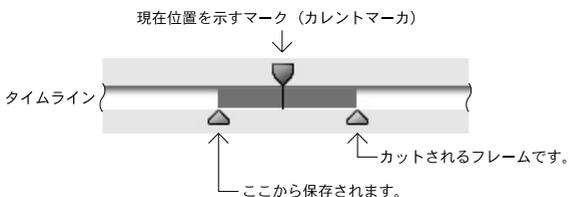
●シーンの変わり目の自動検出

シーンの変わり目を自動的に探し出し、カットやチャプターを設定するポイントを見つけることができます。

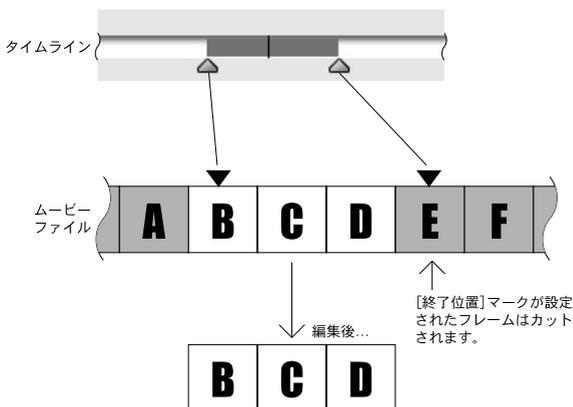
検出の感度は、[ツール]メニューの[オプション]をクリックし、[その他]タブにあるスライダをドラッグすると、調整できます。

マークの設定

MPEGcraft 3 DVDは、ムービーファイルの任意の位置にマークを設定すると、その位置でファイルをカットします。マークが設定されているフレームの直前でカットされますので、[終了位置]のマークが設定されたフレームは出力後の映像に含まれません。



例) フレームBとフレームEにマークを設定した場合、トリミングされる映像はフレームBからフレームDまでです。



⚠️ ご注意

実際にムービーファイルをカットするわけではありません。ムービーファイルを出力した時点で、マーク間の映像だけを抜き出して保存します。

【先頭を残す】メニューについて

[編集]メニューの[先頭を残す]は、ムービーファイルの先頭を残すかどうかを選択するメニューです。

[先頭を残す]にチェックを入れると、ムービーファイルの先頭にマークが設定され、最初からトリミングされます。

[先頭を残す]のチェックをはずすと、最初に設定したマークからトリミングします。

●チェックを入れた場合



先頭から保存します。

●チェックをはずした場合

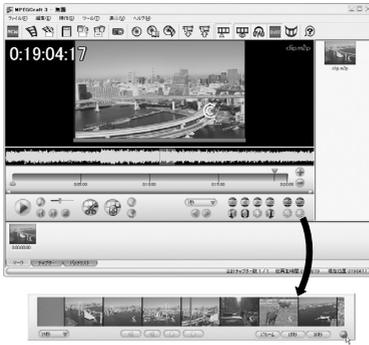


最初に設定したマークから保存します。

ピクチャリストには[ドッキングモードの切り替え]ボタンがあります。
これをクリックすると、ピクチャリストを操作画面の外に出すことができます。



↓ ドッキングモードの切り替え



[前後のフレームを表示]ボタンをクリックすると、フレームビューに現在位置の前後のフレームを合わせた三画面が表示されます。



用途に応じて編集画面のカスタマイズをお試しください。

3-2 映像を追加する

本製品に、映像を取り込みます。複数の映像を取り込むこともできます。ここでは、映像をファイルから取り込む方法、DVD-Video (DVD-VR) から取り込む方法、HDVカメラから取り込む方法を説明します。

ファイルから映像を取り込む

パソコンや周辺機器にあるファイルから映像を取り込む方法は、次のとおりです。

- 1 デスクトップにある「MPEGcraft 3」のショートカットをダブルクリックします。

→ MPEGcraft 3 DVDが起動します。



MPEGcraft 3

ダブル
クリック!



知識

デスクトップにショートカットを作成していない場合は、[スタート]メニューから[すべてのプログラム]へ進み、[Canopus] → [MPEGcraft 3 DVD] → [MPEGcraft 3]をクリックしてください。



知識

ハードディスクビデオカメラ (HDDカメラ) の場合は、HDDカメラをパソコンに接続し、外付けのハードディスクとして認識させます。撮影した動画をパソコン上のファイルと同じように選択し、変換することができます。

2 [ムービーを追加]ボタンをクリックし、編集したいムービーファイルを選択します。



→ ファイルを選択すると、ムービーリストに、選択したムービーファイルのサムネイルが表示されます。また、マークリストにマークの「時：分：秒：フレーム番号、または10ミリ秒（初期値ではフレーム番号）」とサムネイルが表示されます。



Check!

「3-6 操作画面」P60

3-2

映像を追加する

DVD-Videoから映像を取り込む

DVD-Videoの映像を取り込む方法は、次のとおりです。

操作する前に

DVDドライブにDVDメディアをセットしておきます。

- 1 デスクトップにある[MPEGCraft 3]のショートカットをダブルクリックします。

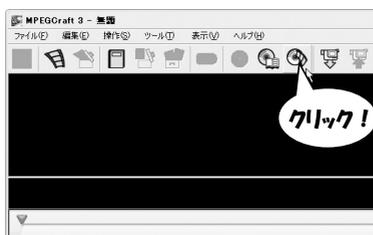
→ MPEGCraft 3 DVDが起動します。



MPEGCraft 3

ダブル
クリック!

- 2 [DVDメディアから取り込み]ボタンをクリックします。
→ [DVD取り込み] ダイアログが表示されます。



知識

デスクトップにショートカットを作成していない場合は、[スタート]メニューから[すべてのプログラム]へ進み、[Canopus] → [MPEGCraft 3 DVD] → [MPEGCraft 3]をクリックしてください。

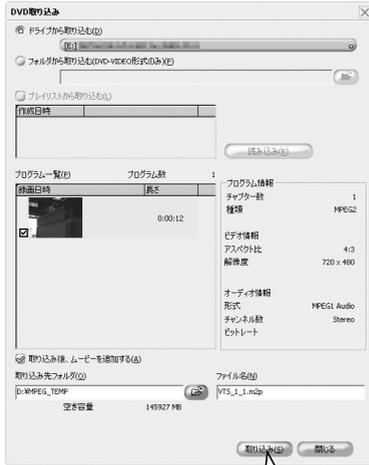
ご注意

市販のDVD-Videoの映像は、著作権保護のため、取り込むことができません。

知識

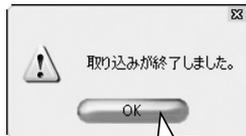
DVDビデオカメラで撮影したDVDメディアをドライブに挿入すれば、DVD-Videoと同じように映像を取り込めます。

- 3** 「ドライブから取り込む」で取り込むDVDメディアの入ったドライブを選択し、取り込み先フォルダを選択します。「プログラム一覧」で取り込みたい映像をチェックし、[取り込み]ボタンをクリックします。



クリック!

- 4** 最後に[OK]ボタンをクリックします。



クリック!

Check!
「DVD取り込みダイアログ」
P73

HDV カメラからキャプチャ

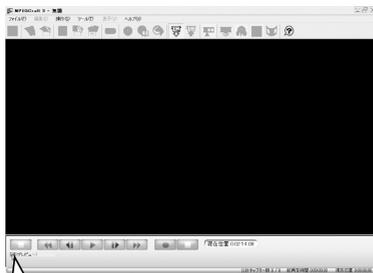
操作する前に

- HDVカメラをパソコンのIEEE1394(OHCI)端子にDVケーブルで接続します。HDVカメラは[Microsoft AV/C Tape Subunit Device]としてWindowsに認識されます。
- 当社製ハードウェアMPEG2・4エンジンがパソコンに搭載されていない環境で、HDVカメラからHDVキャプチャを行う場合は、HDVカメラをHDVモードに切り替え、かつビデオモード(見る/編集モード)にして使用してください。
- HDVカメラがDVモードであったり、ビデオモードになっていない場合はHDVキャプチャができません。HDVカメラの設定方法については、カメラの取扱説明書をご覧ください。

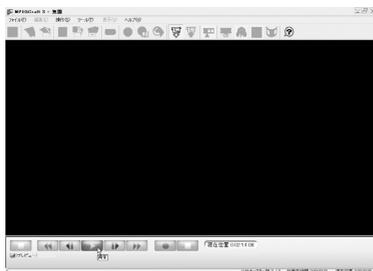
- 1 [HDVキャプチャモード]ボタンをクリックします。
→ キャプチャモード画面に切り替わります。



HDVカメラの映像を画面に表示させる場合は、画面左下の[プレビュー]にチェックを入れます。



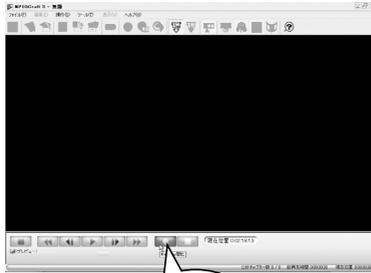
- 2 キャプチャ開始位置の頭出しを行います。



知識

当社製ハードウェアMPEG2・4エンジンを使用されている場合は、[DV/HDVキャプチャモード]ボタンと表示され、DVのキャプチャも行うことができます。

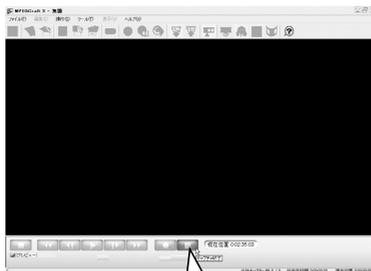
3 [キャプチャ開始]ボタンをクリックします。



4 キャプチャするファイルの保存先、名称を設定し、[OK]ボタンをクリックします。 → キャプチャを開始します。



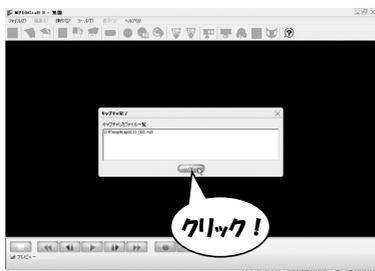
5 キャプチャを終了するには、[キャプチャ終了]ボタンをクリックします。



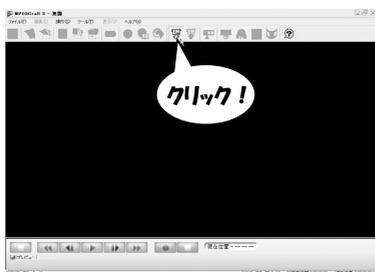
知識

プレビューにノイズなどが表示されることがありますが、動作環境によりデコードが間に合わずに発生するもので、キャプチャには影響しません。

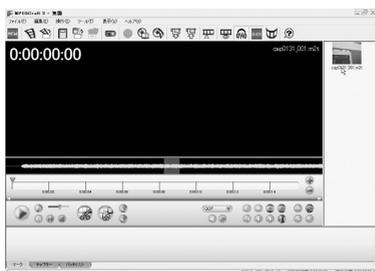
6 [OK]ボタンをクリックします。



7 [HDVキャプチャモード]ボタンをクリックします。 → 編集画面に戻ります。



→ キャプチャしたファイルがクリップリストに登録されます。



3-3 不要な映像をカットする(トリミング)

ムービーファイルの途中にある不要な映像をカットし、必要な映像だけをつなぎ合わせて出力する方法を説明します。

- 1** ムービーファイルの先頭が必要な場合は、[編集]メニューの[先頭を残す]にチェックを入れます。



知識

ムービーファイルの先頭が不要な場合は、チェックをはずします。



「[先頭を残す]メニューについて」P25

- 2** カットしたい映像の最初のフレームを表示させ、マークを設定します。

①カレントマーカをドラッグし、大まかなカット位置を表示させます。



カット位置は、画面を左クリックしたままマウスで右回り(進む)・左回り(戻る)することでも調整できます(「マウスジェスチャ機能」P23参照)。

また、カレントマーカのすぐ下にある[再生][巻戻し][早送り][停止]ボタンでカット位置を調整し、[マーク設定、解除]ボタンでマークを設定できます。

このように、マウスでの操作で、簡単に編集作業をすることもできます。



知識

ムービーファイルの先頭が不要な場合は、必要な映像の最初のフレームを表示させます。



知識

マークの位置を修正するときには、マークをドラッグします。マークをダブルクリックすると、マークを削除できます。

- ②ピクチャリストの[表示間隔]ドロップダウンメニューで「1フレーム」を選択します。

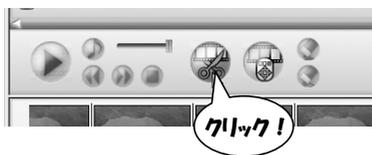


- ③ ◀ または ▶ でカットしたい最初のフレームを表示し、クリックします。



- ④[マーク設定、解除]ボタンをクリックします。

→ タイムラインにマークが追加され、マークより後のバーの色が変わります。色の付いた範囲がカット後に残る部分です。



知識

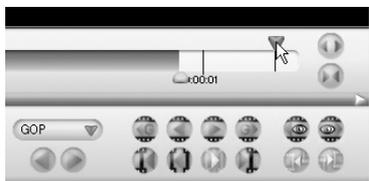
後ろのマークが設定されたフレームはカットされます。

例：フレームAにマークが設定されていると、フレームAはカットされます。フレームAを残したい場合は、フレームBにマークを設定してください。



フレームB以降がカットされます。

3 必要な映像までカレントマーカを移動させます。



4 手順2の③、④を行い、マークを設定します。 → タイムラインにマークが追加され、マークより後のバーの色が元の色に戻ります。



5 必要に応じて手順2から4を繰り返し、マーキングします。カット編集したムービーをMPEGファイルとして保存する場合は、「MPEGファイルとして保存する」P51をご参照ください。プロジェクトを保存する場合は、「プロジェクトを保存する」P57をご参照ください。

プロジェクトとは？

リストに追加したムービーファイル、映像に追加したマーク位置などの編集情報のことです。プロジェクトを保存しておけば、再びプロジェクトを読み込み、編集を保存したところから再開することができます。プロジェクトの追加読み込みを使うと、プロジェクトをつないでいくことができます。

カット位置を簡単に探す

ピクチャリストでマウスを使い、簡単にトリミングする方法です。

1 ファイルを追加します。



2 取り除きたい映像のおおまかな先頭位置に、カレントマークで移動します。



3 ピクチャリストの[表示間隔]を[30秒]か[1分]にします。



知識

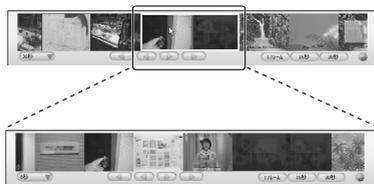
よく使用する表示間隔は、ダイレクトボタンに割り当てておく便利です。



ダイレクトボタンの設定は、オプションダイアログの時間タブで設定します。



- 4** ピクチャリストの不要部分が含まれるサムネイルとその前のサムネイルをマウスの右ボタンでドラッグします。



→ ドラッグを解除すると選択した範囲がズームされます。

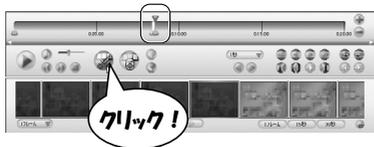
- 5** 操作を繰り返して、不要部分の開始位置を特定していきます。
サムネイルの周りに白い枠が表示されると、それ以上ズームしなくなります。このとき表示間隔は最小単位の1フレームになっています。



- 6** 不要部分の開始位置にOUT点を設定します。



- 7** 次に不要部分の終了位置にIN点を設定します。手順3から6 (IN点を設定) を行います。



→ 不要部分がトリミングされます。

3-4 チャプターを設定する

映像に、チャプターを設定しましょう。チャプターとは、映像内に入れる目印のことです。DVDメディアを再生するときに、チャプターを入れたシーン位置から再生することができます。ここでは、映像にチャプターを設定する方法を説明します。

- 1 [ムービーを追加]ボタンをクリックし、DVDメディアに記録する映像を選択します。



知識

プロジェクトを追加するときには [プロジェクトを開く] ボタンをクリックします。



- 2 [チャプター] タブをクリックします。



- 3 カーソルをドラッグし、チャプターを設定したい位置で [チャプターの設定、解除] ボタンをクリックします。



知識

チャプターを設定しておく、DVDメディアで再生するときに指定したチャプターから再生することができます。

→ チャプターが設定され、チャプターリストにチャプターサムネイルとタイムレコードが表示されます。



4 チャプターを削除するときは、[チャプター]タブのサムネイルを選択し右クリックします。

→ ポップアップメニューが表示されます。

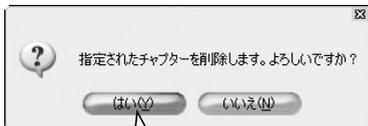


5 [チャプターの削除]をクリックします。

→ 削除の確認画面が表示されます。



6 [はい]をクリックします。



7 必要に応じて手順3~6を繰り返し、チャプターを整理します。

3-5 作成した映像を出力する

映像を出力しましょう。出力は、DVDメディアに直接出力する方法と、MPEGファイルとしてパソコンや周辺機器に出力する方法があります。HDVの場合は、テープに書き戻す方法があります。さらにDVDメディアに出力するとき、メニューを付けて出力することもできます。ここでは、それぞれの出力方法について説明します。

⚠️ ご注意

MPEGファイルをエンコードする必要がない場合は、[フォルダをDVDに書き込み]を選択して手順4以降へ進んでください。

メニューのないDVD-Videoを作成する

映像をDVDメディアに、メニューを付けずに保存する方法は次のとおりです。

操作する前に

DVDドライブにDVDメディアをセットしておきます。

- 1 [編集内容をDVDに書き込む]ボタンをクリックします。
→ [ソースファイル設定]ダイアログが表示されます。



2 ファイル形式と作業フォルダを設定し、[必要な箇所のみ再エンコード]にチェックを入れます。



! ご注意

ファイルがDVDメディアの規格に合っていない場合は、次のような画面が表示されます。



ビットレートだけが規格に合わないときは自動で設定されます。その他の内容が規格に合わない場合は、パラメータ設定のダイアログが自動的に表示されます。

! ご注意

エンコーダでハードウェアエンコーダを指定した場合、パソコンでの処理が間にあわずにエンコードに失敗することがあります。失敗した場合は、ソフトウェアエンコーダを指定してエンコードしなおしてください。

🔗 知識

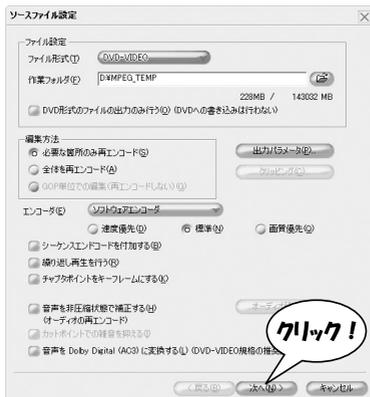
[DVD形式のファイルの出力のみ行う]にチェックを入れると、ファイルのエンコード後、DVDメディアへの書き込みを行わずにディスクイメージを作成します。

Check!

「ソースファイル設定ダイアログ」P74

3 [次へ]をクリックします。

→ [DVD設定]ダイアログが表示されます。



4 各項目を設定し、[書き込み]をクリックします。



→ 書き込みが開始され、以下の画面が表示されます。



5 [OK]をクリックします。

→ DVDメディアへの書き込みは終了です。



知識

DVDメディアに書き込む前に、エンコードしたファイルは一度ハードディスクに保存されます。

Check!

「DVD設定ダイアログ」P80

メニュー付きのDVD-Videoを作成する

映像をDVDメディアに、メニューを付けて保存する方法は次のとおりです。チャプターを設定した箇所が、それぞれメニューとなります（→「3-4チャプターを設定する」P40参照）。

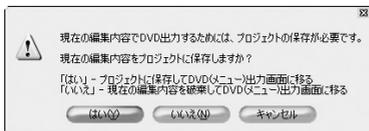
操作する前に

DVDドライブにDVDメディアをセットしておきます。

- 1 [メニュー付きでDVDに書き込む]ボタンをクリックします。
→プロジェクトの保存を確認する画面が表示されます。



- 2 プロジェクトを保存するときは[はい]を選択し、表示されるプロジェクト保存ダイアログで、プロジェクトを保存します。[はい]を選択すると、現在読み込まれているプロジェクトが[DVDメニュー作成]画面に反映されます。プロジェクトを保存しないときは[いいえ]を選択します。
→[DVDメニュー作成の開始]画面が表示されます。



! ご注意

[いいえ]を選択した場合は、現在読み込まれているプロジェクトは削除されます。

- 3** [次へ]ボタンをクリックします。
→ [ムービーファイルの追加]画面が表示されます。



- 4** ファイルを追加する場合は、[追加]ボタンをクリックします。



知識

DVDメディアに書き込む前に、エンコードしたファイルは一度ハードディスクに保存されます。同じデータで再度書き込みをするかどうかをたずねるダイアログが表示されます。[いいえ]を選択すると、一時ファイルが削除されます。

ご注意

ファイルがDVDメディアの規格に合っていない場合は、次のような画面が表示されます。



ビットレートだけが規格に合わないときは自動で設定されます。その他の内容が規格に合わない場合は、パラメータ設定のダイアログが自動的に表示されます。

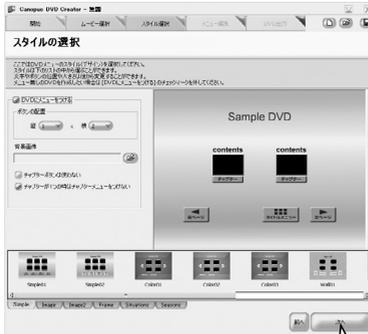


- 5** [次へ]ボタンをクリックします。
→ [スタイルの選択]画面が表示されます。



クリック!

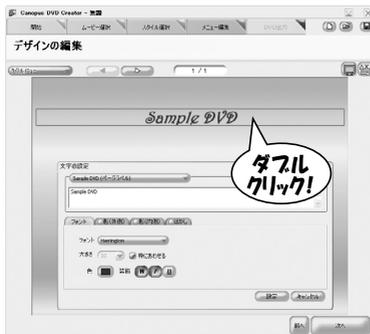
- 6** 使用するテンプレートを選択し、[次へ]ボタンをクリックします。
→ [デザインの編集]画面が表示されます。



クリック!

- 7 タイトルを編集します。
- ①タイトルの上でダブルクリックします。
→[文字の設定]ダイアログが表示されます。

- ②タイトルの設定を行います。



- ③チャプタータイトルを編集するには、チャプターメニューに切り替えます。

※チャプターがない場合は切り替えできません。

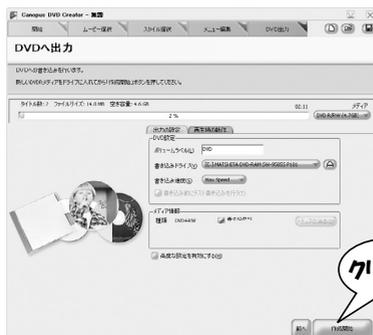


- ④編集が完了したら、[次へ]ボタンをクリックします。
→ [DVDへ出力]画面が表示されます。



クリック!

- 8** 各項目を設定し、[作成開始]ボタンをクリックします。



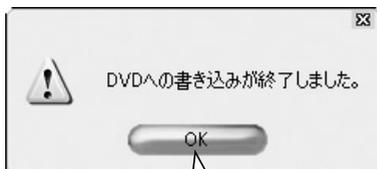
クリック!

- 書き込みが開始され、以下の画面が表示されます。



9

[OK]をクリックします。
→ DVDメディアへの書き込みは終了です。



クリック!

10

同じ内容をDVDメディアに書き込む場合は、[はい]ボタンをクリックします。書き込みを終わる場合は、[いいえ]ボタンをクリックします。



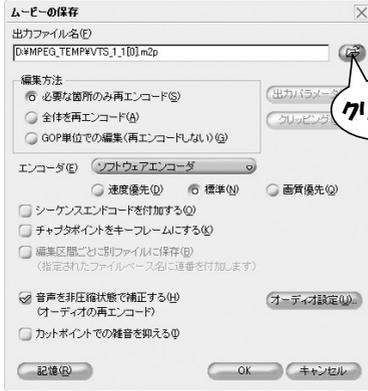
MPEG ファイルとして保存する

映像をパソコンや周辺機器に、MPEGファイルとして保存する方法は次のとおりです。

- 1** [ムービーファイルに保存]ボタンをクリックします。
→ [ムービーの保存]画面が表示されます。



- 2** [参照]をクリックし、出力ファイル名を入力します。



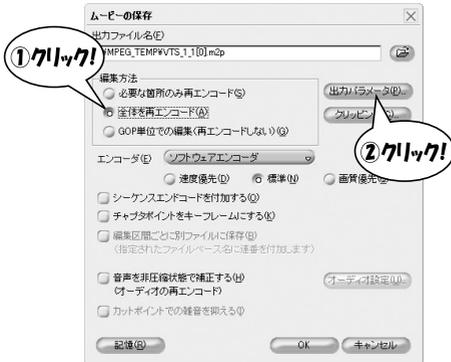
Check!

「ソースファイル設定ダイアログ」P74

3-5

作成した映像を出力する

- 3** 編集方法を選択し、[出力パラメータ]をクリックします。
 → 出力パラメータウィンドウが表示されます。
 表示されるウィンドウは、編集方法によって異なります。



- 4** 出力の設定を確認・変更し、[OK]をクリックします。
 → ムービーの保存ウィンドウに戻ります。



! ご注意

- 編集方法は、用途に応じて選択してください。
- [必要な箇所のみ再エンコード]を選択すると、再生装置によっては出力したファイルが使用できない可能性があります。DVD-Videoを作成する場合は、[全体を再エンコード]を選択して個別にパラメータ設定をおすすめします。
- 出力デバイスにハードウェアエンコードを選択して個別にパラメータ設定する場合（当社製MTVシリーズ、StormEncoder、ハードウェアMPEG2・4エンジンが対応）、パソコンでの処理が間にあわずにエンコードに失敗することがあります。失敗した場合は、ソフトウェアエンコードを指定してエンコードしなおしてください。

Check!

「全体を再エンコード時の出力パラメータ」P77

! ご注意

[GOP単位での編集]を選択したときは、[再バックを行う]にチェックを入れることを推奨します。チェックを入れないと、ストリーム中にダメージが残ることがあります。再生には問題ありませんが、ダメージデータのファイルサイズが大きくなります。



5 [OK]をクリックします。

→ 出力を開始します。出力が完了すると、出力完了ウィンドウが表示されます。



↓
クリック!



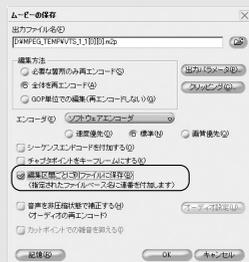
6 [閉じる]をクリックします。



クリック!

知識

トリミングした部分が1つのムービーファイルに複数ある場合は、それぞれ別々のムービーファイルとして保存することができます。ムービーの保存ウィンドウの[編集区間ごとに別ファイルに保存]にチェックをしてください。



知識

結果を確認するときは、[簡易再生]、または[再生]をクリックしてください。ただし[再生]は、出力ファイルの拡張子とプログラムがOSで関連付けされていないと動作しません。

あとでまとめてエンコードする(バッチエンコード)

編集したファイルを、あとでまとめてエンコードすることを、バッチエンコードと呼びます。ここでは、現在読み込まれているプロジェクトを保存し(手順1~5)、エンコードを行う(手順6以降)までの方法を説明します。

- 1** [バッチリストに追加]ボタンをクリックします。
→[プロジェクトの保存]画面が表示されます。



- 2** [出力設定]をクリックします。
→[ムービーの保存]ダイアログが表示されます。



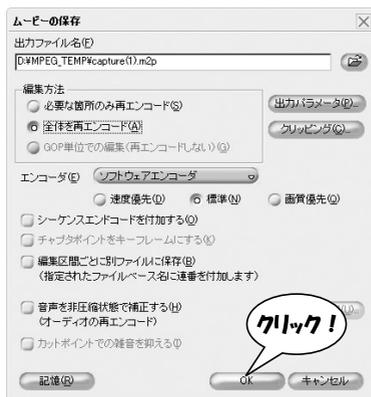
知識

バッチリストに追加するには、現在読み込まれているプロジェクトを保存する必要があります。

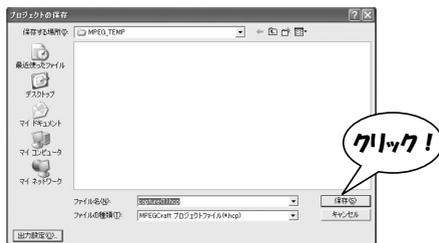
3 [参照]をクリックし、出力ファイル名を入力します。



4 各項目を設定し、[OK]をクリックします。 → [プロジェクトの保存]ダイアログに戻ります。



5 [保存]をクリックします。 → .hcp形式のファイルが保存されます。



6 エンコードを行うときに、[ファイル]メニューの[バッチエンコード]をクリックします。

→ [バッチエンコード]ダイアログが表示されます。



7 [追加]をクリックし、エンコードするファイルを選択します。

→ 必要に応じ、エンコードするファイルを複数選択できます。



8 [開始]をクリックします。

→ エンコードが開始されます。



Check!

「バッチエンコードダイアログ」P82

プロジェクトを保存する

編集作業が終了したら、プロジェクトを保存します。プロジェクトを保存する方法は、次のとおりです。

1 [ファイル]メニューの[名前を付けてプロジェクトを保存]をクリックします。

→ [プロジェクトの保存]ダイアログが表示されます。



知識

プロジェクトとはリストに追加したムービーファイル、映像に追加したマーク位置などの編集情報のことです。編集情報を保存したファイルをプロジェクトファイルといいます。

2 保存する場所とファイル名を設定して、[保存]ボタンをクリックします。

→ プロジェクトの保存は終了です。



HDV カメラへ書き出し

操作する前に

- HDVカメラをパソコンのIEEE1394(OHCI)端子にDVケーブルで接続します。HDVカメラは[Microsoft AV/C Tape Subunit Device]としてWindowsに認識されます。
- お使いの機器により、HDVモードに設定する必要があります。HDVカメラの設定方法については、カメラの取扱説明書をご覧ください。

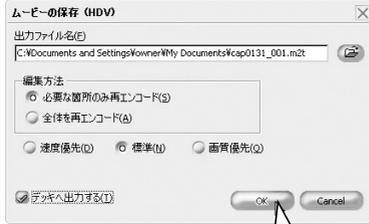
- 1** [ムービーファイルの保存(HDV)]ボタンをクリックします。
→ [ムービーの保存(HDV)]画面が表示されます。



- 2** [デッキへ出力する]にチェックを入れます。

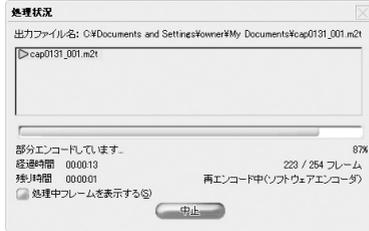


3 出力するファイル名を指定し、[OK]ボタンをクリックします。



クリック!

→ ファイルの書き出しを開始します。

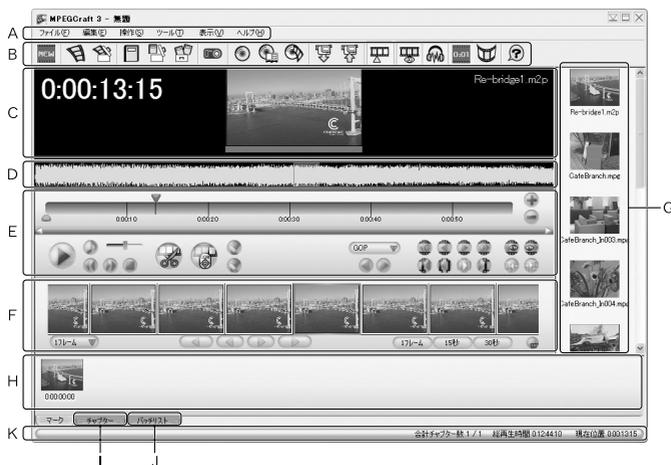


→ ファイルの書き出しが終わると、テープへの書き出しを開始します。画面が消えたら書き出しは完了です。



3-6 操作画面

編集画面



- | | | | |
|------------|------|------------|------|
| A メニュー | →P60 | G ムービーリスト | →P70 |
| B ツールバー | →P65 | H マークリスト | →P71 |
| C フレームビュー | →P66 | I チャプターリスト | →P71 |
| D 波形ビュー | →P67 | J パッチリスト | →P72 |
| E スライダービュー | →P67 | K ステータスバー | →P72 |
| F ピクチャリスト | →P69 | | |

※編集画面各部の表示方法については、「編集画面の環境設定」P26を参照してください。

■メニュー

ファイル(F) 編集(E) 操作(S) ツール(T) 表示(V) ヘルプ(H)

□ファイルメニュー

- ・ [ムービーを追加][ムービーを削除][すべてのムービーを削除]
プロジェクトにムービーファイルの追加、削除をします。
- ・ [ムービーファイルをMPEG形式で保存]
編集結果をムービーファイルに保存します。
※MPEGCraft 3 DVDの編集状態(プロジェクト)を保存する場合は、[名前を付けてプロジェクトを保存]を選択します。

- [ムービーファイルをなんでも換太郎で保存]
「なんでも換太郎」の対応出力形式で出力します。
「なんでも換太郎」がインストールされている環境でご使用できます。
- [静止画の保存]
現在位置のフレーム画像を保存します。
- [新規プロジェクト][プロジェクトを開く][プロジェクトの上書き保存][名前を付けてプロジェクトを保存]
プロジェクトファイルの作成、保存、読み込みをします。編集中のプロジェクトは終了します。
- [プロジェクトの追加読み]
プロジェクトファイルを読み込み、現在編集中のプロジェクトの後ろに追加します。
- [パターンファイルを書き出す][パターンファイルを読み込む]
パターンファイル（マーク情報を記録したファイル→「便利な機能」P22参照）を保存、読み込みます。
- [バッチリストに追加]
現在編集中のプロジェクトをバッチリストに追加します。
- [バッチエンコード]
バッチエンコードを行います。バッチエンコードダイアログが表示されます。（→「バッチエンコードダイアログ」P82参照）
- [最近使ったムービー][最近使ったプロジェクト]
最近使用したファイルが表示されます。
- [終了]
MPEGcraft 3 DVDを終了します。

□編集メニュー

- [マークの追加][マークの削除][すべてのマークを削除]
編集中のムービーの現在位置にマークを追加、削除します。
- [すべてのマーク位置をシーン位置に調整する]
現在設定されているすべてのマークを、近くにあるシーンの変わり目となる位置に移動させます。近くにシーンの変わり目がない場合は、そのマークの移動は行いません。

- [チャプターの追加][チャプターの削除][すべてのチャプターを削除]
編集中のムービーの現在位置にチャプターを追加、削除します。
- [カットの先頭にチャプター設定する]
編集中のムービーのカットの先頭（In点）すべてにチャプターを設定します。
- [一定間隔でチャプターを設定する]
チャプターを指定した時間間隔ごとに自動的に設定します。
- [先頭を残す]
ムービーの先頭をIn点に設定します。最初のマーク位置までが出力される区間になります（→「[先頭を残す]メニューについて」P25参照）。
- [元に戻す][やり直す]
直前の操作の取り消し、やり直しをします。
- [最初からやり直し]
現在編集中の内容を破棄します。

□操作メニュー

編集中のムービーを操作します。

各機能にはショートカットが割り当てられています（→「6-3 ショートカット一覧」P110参照）。

- [先頭フレームへ移動][最終フレームへ移動]
[前のチャプターへ移動][次のチャプターへ移動]
[前のシーンへ移動][次のシーンへ移動]
[前のマークへ移動][次のマークへ移動]
[前のGOPへ移動][次のGOPへ移動]
[前のフレームへ移動][次のフレームへ移動]
[指定時間戻る][指定時間進む]
編集中のムービーの現在位置を移動します。
- [再生する][早送り][巻き戻し][停止]
編集中のムービーの再生、停止、早送り、巻き戻しを行います。
- [指定時間にジャンプ]
指定した時間に現在位置を移動します。

□ ツールメニュー

- [DVDに出力]
ムービーをDVDに書き込みます (→「メニューのないDVD-Videoを作成する」P42参照)。
- [DVDに出力 (メニュー付き)]
メニュー付きのDVDを作成します。メニューはウィザードにしたがって作成します。(→「メニュー付きのDVD-Videoを作成する」P45参照)。DVDメニュー作成画面に切り替わる時に、現在編集中のプロジェクトが自動的に追加されます。
- [DVDメディアから取り込み]
DVDに記録されているムービーをハードディスクに取り込みます。
- [フォルダをDVDに書き込み]
指定したフォルダ内のファイルをDVDに書き込みます。DVD設定ダイアログが表示されます (→「メニューのないDVD-Videoを作成する」P42参照)。
- [HDVキャプチャモード]
パソコンに接続したHDVカメラの操作、キャプチャを行います。(→「HDVカメラからキャプチャ」P32参照)
当社製ハードウェアMPEG2・4エンジンがパソコンに装着されている場合、[DV/HDVキャプチャモード]となり、DVのキャプチャもできます。
- [ムービーファイルの保存 (HDV)]
MPEG TS形式のファイルを保存します。HDVのテープに書き出すこともできます。
- [プレビュー[GOP]]
[プレビュー]画面を開き、ムービーリスト上にあるMPEGファイルをプレビューします。
- [オーディオ補正]
音声を前後に移動します。
- [HomeEdge Explorerを起動する][To MPEGツールを起動する]
アプリケーションソフトを起動します。
- [オプション]
各種設定を行います。(→「オプションダイアログ」P84参照)

□表示メニュー

- [ツールバー][ステータスバー][ピクチャリスト][波形][マークリスト][ムービーリスト]
操作画面各部の表示/非表示を切り替えます。
- [情報の表示]
フレームビューに表示する情報の表示/非表示を切り替えます（表示位置の変更→「オプションダイアログ」P84参照）。
- [前後のフレームを表示]
フレームビューに現在位置の1フレーム前と1フレーム後も表示します。再生時は表示されません。

□ヘルプメニュー

- [ヘルプ]
MPEGraft 3 DVDユーザーズマニュアル（PDFファイル）を表示します。
※PDFファイルをご覧になるには、Adobe Readerが必要です。
- [バージョン情報]
MPEGraft 3 DVDのバージョン情報を表示します。

■ ツールバー

機能については、「メニュー」P60を参照してください。



 [新規プロジェクト]
(→ファイルメニュー参照)

 [ムービーを追加]
(→ファイルメニュー参照)

 [ムービーファイルの保存]
(→ファイルメニュー参照)

 [プロジェクトを開く]
(→ファイルメニュー参照)

 [プロジェクトの保存]
(→ファイルメニュー参照)

 [バッチリストに追加]
(→ファイルメニュー参照)

 [静止画の保存]
(→ファイルメニュー参照)

 [編集内容をDVDに書き込む]
(→ツールメニュー参照)

 [メニュー付きでDVDに書き込む]
(→ツールメニュー参照)

 [DVDメディアから取り込み]
(→ツールメニュー参照)

 [HDVキャプチャモード]
(→ツールメニュー参照)
※当社製ハードウェアMPEG2・4エンジンがパソコンに装着されている場合、[DV,HDVキャプチャモード]となります。

 [ムービーファイルの保存 (HDV)]
(→ツールメニュー参照)

 [先頭を残す]
(→編集メニュー参照)

 [ピクチャリスト]
(→表示メニュー参照)

 [波形]
(→表示メニュー参照)

 [情報の表示]
(→表示メニュー参照)

 [前後のフレームを表示]
(→表示メニュー参照)

 [ヘルプ]
(→ヘルプメニュー参照)

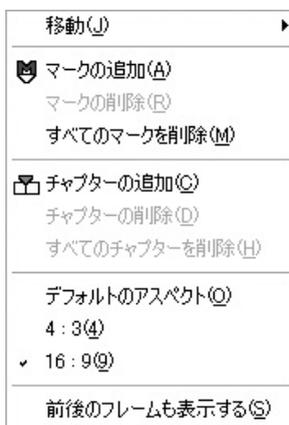
■フレームビュー

フレームビューではムービーのフレーム画像を表示します。タイムコードやピクチャの種類などの情報を表示できるほか、ムービーを再生したり、右クリックメニューから各種操作を行うことができます。



□フレームビューの右クリックメニュー

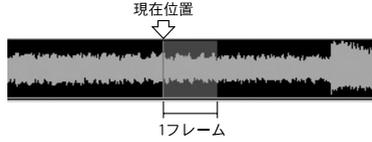
機能については、「メニュー」P60を参照してください。



- [移動]
(→操作メニュー)
- [マークの追加][マークの削除][すべてのマークを削除]
[チャプターの追加][チャプターの削除][すべてのチャプターを削除]
(→編集メニュー)
- [デフォルトのアスペクト][4:3][16:9]
アスペクト比を設定します。
- [前後のフレームも表示する]
(→表示メニュー)

■波形ビュー

音声の波形を表示します。



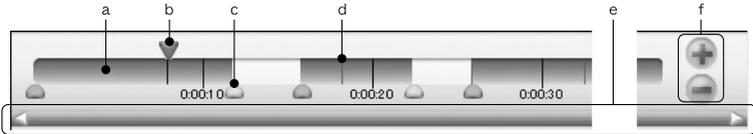
中央の赤い線が現在位置を示し、薄い灰色で塗りつぶされている部分が1フレームに相当します。この1フレームはカレント位置のフレームです。

■スライダービュー

スライダービューではムービーをカットしたり、チャプターを設定したりするなど編集作業の主要な操作を行います。

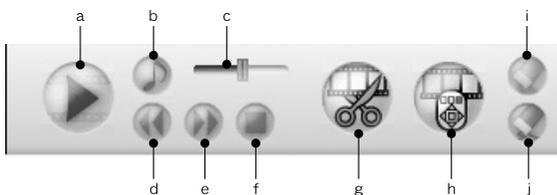


□タイムライン



- | | |
|--|---|
| <p>a タイムライン
ムービーの出力する部分とカットする部分
を表します。青い範囲が出力されます。</p> | <p>d チャプター
チャプター位置のフレーム画像はチャプ
ターリストに表示されます。</p> |
| <p>b カレントマーカ
ドラッグして現在位置を移動できます。</p> | <p>e ズームバー
編集区間の表示範囲を移動します。</p> |
| <p>c マーク
マーク位置のフレーム画像はマークリス
トに表示されます。</p> | <p>f 表示倍率
編集区間の表示倍率を変更します。</p> |

再生エリア



a [再生]

※再生中にクリックすると再生を一時停止します。

b [ミュート]

c [ボリューム]

d [巻戻し]

e [早送り]

f [停止]

g [マーク設定、解除]

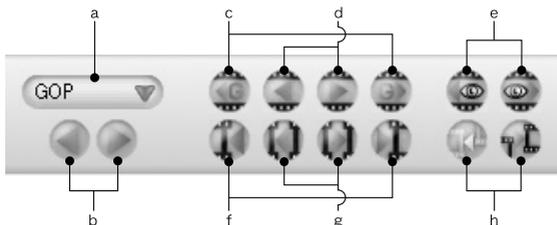
h [チャプターの設定、解除]

※スライダー上でマウスの左ボタンをダブルクリックするとその位置にマーク、右ボタンをクリックするとチャプターを設定します。
※チャプターは1 Frameに設定するとずれていくのでなるべく1 Frameに設定することをお奨めします。

i [元に戻す]

j [やり直す]

操作エリア



a [ジャンプ時間設定]

[指定時間戻る/進む]でジャンプするときの移動時間を設定します。ドロップダウンリストから時間を選択します。マウスの右ボタンをクリックしたままホイールを動かすことによっても変更することができます。

b [指定時間戻る][指定時間進む]

c [前のGOPへ移動][次のGOPへ移動]

d [前のフレームへ移動][次のフレームへ移動]

e [前のシーンへ移動][次のシーンへ移動]

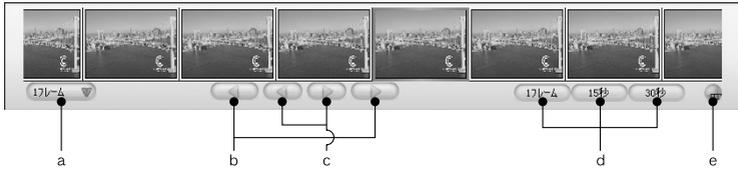
f [先頭フレームへ移動][最終フレームへ移動]

g [前のマークへ移動][次のマークへ移動]

h [前のチャプターへ移動][次のチャプターへ移動]

■ピクチャリスト

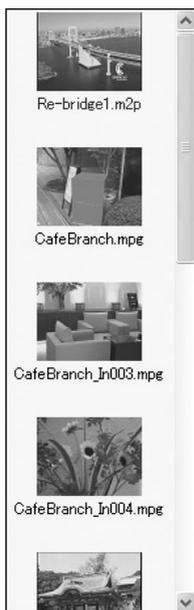
ムービーファイルをフレーム単位で表示することができます。表示間隔は任意で設定することができます。



- a [表示間隔]
画像の表示間隔を選択します。
- b [前のページへ移動][次のページへ移動]
ピクチャリストを半画面分スクロールします。
- c [選択した時間戻る][選択した時間進む]
クリックして表示される時間を移動したピクチャリストを表示します。
- d [ダイレクトボタン]
あらかじめ[表示間隔]を割り当てています。
(→「オプションダイアログ」P84参照)
- e [ドッキングモードの切り替え]
ピクチャリストを編集画面から出し入れします。

■ムービーリスト

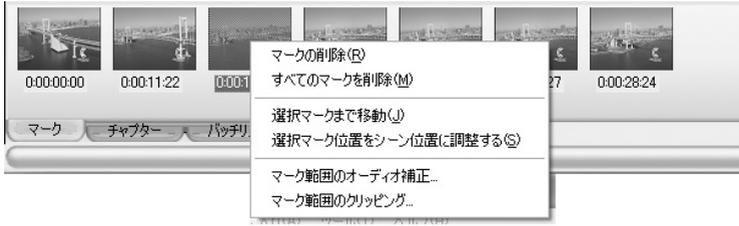
MPEGcraft 3 DVDでは複数のMPEGファイルを同時に編集し、それらを結合することができます。ムービーリストビューではプロジェクトに含まれるMPEGファイルのリストを表示します。



- サムネイル画像の右クリックメニューから[編集する]を選択、もしくはサムネイル画像をダブルクリックすると編集するムービーを切り替えることができます。
- ムービーの順番は右クリックメニューもしくはドラッグ&ドロップで入れ替えることができます。

■マークリスト

選択されているムービーのマーク位置のリストです。サムネイル画像とマーク位置の時間が表示されています。



□右クリックメニュー

右クリックメニューからマークリストの各種操作を行います。

- ・[マークの追加][マークの削除][すべてのマークを削除]
編集中的ムービーの現在位置にマークを追加、削除します。
- ・[マーク範囲のオーディオ補正]
選択したマークから次のマークまでの範囲に対してオーディオと映像をずらす時間を設定します。
- ・[マーク範囲のクリッピング]
クリッピング設定のダイアログを開きます。ここで設定したものは、設定したマークから次のマークまでの範囲に反映されます。
※クリッピングの設定をしたマーク範囲は、常にフルエンコード処理となります。
※GOP編集の場合にはクリッピングは反映されません。

■チャプターリスト

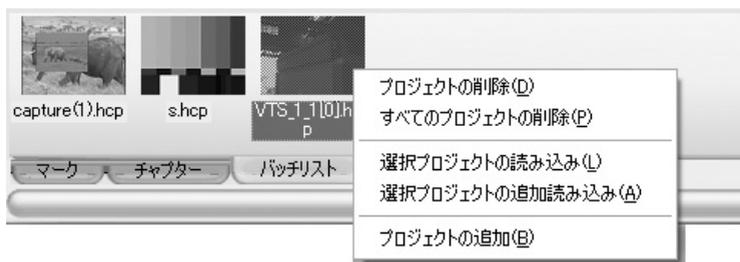
選択されているムービーのチャプター位置のリストです。サムネイル画像とチャプター位置の時間が表示されています。



- ・右クリックメニューからチャプターの追加、削除の操作を行うことができます。
- ・サムネイル画像をダブルクリックするとそのチャプターの位置に移動します。

■バッチリスト

バッチリストはバッチエンコードするプロジェクトファイルのリストです。サムネイル画像とプロジェクトファイル名が表示されています。バッチエンコードではリストの左から順にエンコードが行われます。



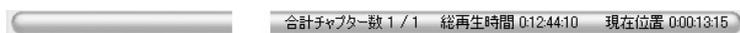
□右クリックメニュー

右クリックメニューからバッチリストの各種操作を行います。

- [プロジェクトの削除][すべてのプロジェクトの削除]
プロジェクトをバッチリストから削除します。
- [選択プロジェクトの読み込み]
プロジェクトを読み込み、編集状態にします。
- [選択プロジェクトの追加読み込み]
プロジェクトを読み込み、現在編集中のプロジェクトに追加します。
- [プロジェクトの追加]
バッチリストにプロジェクトを追加します。

■ステータスバー

各種の情報が表示されます。



- メニューにカーソルを合わせるとそのメニューの簡単な説明が表示されます。
- プロジェクト上の合計チャプター数を表示します。左の数字は有効な区間内（出力される区間）にあるチャプターの数、右の数字は有効無効にかかわらずプロジェクト上のすべてのチャプターの数を示します。
- 編集後の出力ムービーの総再生時間を表示します。

DVD 取り込みダイアログ

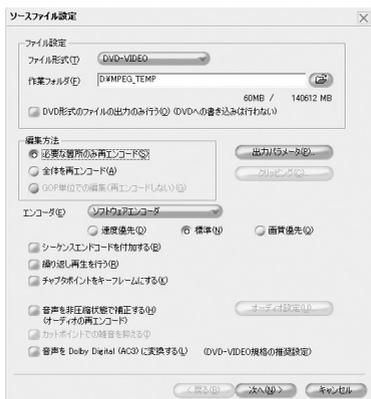
DVD取り込みはDVDビデオディスクやフォルダなどからDVD-VRまたはDVD-Video形式のファイルをハードディスクに取り込みMPEGcraft 3 DVDプロジェクトとして読み込む機能です。DVDドライブ、DVD-Video形式のファイルが書き込まれたフォルダ、DVD-VR形式で書き込まれたDVDのプレイリストから取り込むことができます。



- [ドライブから取り込む]
[フォルダから取り込む]
[プレイリストから取り込む]
DVD-VR形式で書かれたDVDから読み込みます。プレイリストを選択し、[読み込み]ボタンをクリックします。
- [プログラム一覧][プログラム情報]
取り込むことができるプログラムの一覧です。取り込むプログラムにチェックを入れます。
- [取り込み後、ムービーを追加する]
チェックを入れると取り込んだ後にそのプログラムを現在のプロジェクトに追加します
- [取り込み先フォルダ]
エディットボックスに入力するか、[フォルダを開く]ボタンをクリックしてフォルダを指定します。
- [ファイル名]
取り込んだムービーのファイル名を設定します。取り込むプログラムごとに設定する必要があります。

ソースファイル設定ダイアログ

※ムービーの保存ダイアログはこの項を参照してください。



□[ファイル形式]

DVDに書き込む際のファイル形式を、DVD-VR、DVD-VIDEOから選択します。作業フォルダには、編集結果をDVDに書き込むために作られる一時ファイルを保存する場所を指定します。

• [DVD形式のファイルの出力のみ行う]

編集結果をDVD-VIDEO形式のファイルとして作業フォルダに出力し、DVDへの書き込みは行いません。出力されたファイルは、ツールメニューの[フォルダをDVDに書き込み]からDVDに書き込むことができます。

□[編集方法]

• [必要な箇所のみ再エンコード]

(→「必要な箇所のみ再エンコード時の出力パラメータ」P76参照)

カットポイントの周辺のみを再エンコードします。1フレーム単位で編集でき、エンコード量が少ないので処理にかかる時間が短くなります。

※[必要な箇所のみ再エンコード]を選択すると、再生装置によっては出力したファイルが使用できない可能性があります。DVD-Videoを作成する場合は、[全体を再エンコード]を選択して個別にパラメータを設定することをお奨めします。

• [全体を再エンコード]

(→「全体を再エンコード時の出力パラメータ」P77参照)

ムービーの編集区間全体に渡って再エンコードします。新たにエンコードし直すので、出力パラメータを設定したり、クリッピング（画像の端の不要部分を切り取ること）を行うことができます。

※指定値か、またはファイルサイズに合うようにビットレートを変換するためには、[全体を再エンコード]を選択して出力パラメータを設定してください。

- [GOP単位での編集 (再エンコードしない)]
 (→「GOP単位での編集の出力パラメータ」P79参照)
 GOP (Group Of Pictures) の切れ目でカットし編集します。再エンコードを行わないので最も処理時間が短くなりますが、1フレーム単位の編集はできません。
- [クリッピング]
 (→「クリッピング」P23参照)

□[エンコーダ]

当社製MTVシリーズ、StormEncoder、ハードウェアMPEG2・4エンジンがインストールされている場合、内蔵のハードウェアエンコーダを使用することができます。

※出力デバイスにハードウェアエンコーダを指定した場合、パソコンでの処理が間に合わずにエンコードに失敗することがあります。失敗した場合は、ソフトエンコーダを指定してエンコードしなおしてください。

- [ソフトウェアエンコーダ]
 MPEGCraft 3 DVD内蔵のソフトウェアエンコーダを使用します。画質オプションを、速度優先、標準、画質優先の中から選択します。
- [MTVSeries]
 当社製MTVシリーズ内蔵のハードウェアエンコーダを使用します。画質オプションは選択できません。また、MTU、MTVXシリーズ、板ちゅーGold、DVR-777U、DNT-888L、テレビまるごとDVDは使用できません。
- [StormEncoder]
 当社製DVStormのハードウェアMPEGエンコーダオプションStormEncoderを使用します。ただし画質オプションは選択できません。
- [ハードウェアMPEG2・4エンジン]
 Hardware Encoderと表示されます。ただし画質オプションは選択できません。
- [シーケンスエンドコードを付加する]
 ビデオストリームの最後にシーケンスエンドコード (MPEGの終端コード) を付加します。
- [繰り返し再生を行う]
 DVDのオートリピートを設定します。この設定で作成されたDVDは再生が最後まで終了すると自動的に最初に戻って再生します。
- [チャプタポイントをキーフレームにする]
 チャプタに指定したフレームを1フレーム化 (GOPの先頭) することによりチャプタポイントのずれを防止します。
 ※この項目をチェックすると、でき上がったDVDのチャプタポイントがずれなくなります。この場合、チャプタポイント周辺で再エンコードを行うことがあります。

- [音声を非圧縮状態で補正する]

音声を再エンコードします。音ずれが解消する場合があります。[オーディオ設定]ボタンをクリックするとオーディオ設定ダイアログを表示します。

※補正するためには、編集方法で必要な箇所のみ再エンコードが[全体を再エンコード]を選択してください。

- [カットポイントでの雑音を抑える]

カットポイント周辺に起こる雑音を抑制します。[音声を非圧縮状態で補正する]にチェックを入れると有効になります。

- [音声をDolby Digital (AC3) に変換する]

音声をDolby Digitalに変換します。DVD-VIDEO規格の推奨設定です。一部のDVDプレーヤーではMPEG Audioを再生できない場合があるため、この設定を有効にすることを奨めます。

- [記憶] (ムービーの保存ダイアログの設定)

設定を記憶し、次の保存時に自動的に設定をロードします。

■必要な箇所のみ再エンコード時の出力パラメータ

必要な箇所のみ再エンコードする場合、VideoCD形式か複数のファイルを読み込んだ時のみ出力パラメータダイアログが表示されます。



- [以下のファイルの形式で出力する]

選択したファイルの形式で出力します。ドロップダウンリストからファイル名を選びます。

- [形式一致判断項目]

複数のファイルを結合する場合、ファイル形式が一致しないファイル全エンコードされます。ファイル形式が一致するかどうかを判断する項目を設定します。

- [VideoCD形式で多重化を行う] (ムービーの保存ダイアログの設定)
VideoCD形式で多重化を行います。ただし音声はVideoCD規格に合致しない場合は選択できません。
- [記憶] (ムービーの保存ダイアログの設定)
設定を記憶し、次の保存時に自動的に設定をロードします。

■全体を再エンコード時の出力パラメータ



- [以下のファイルの形式で出力する]
選択したファイルの形式で出力します。ドロップダウンリストからファイル名を選びます。
- [個別に設定する]
出力パラメータをそれぞれ個別に設定します。
[デフォルト]を選択すると、[以下のファイル形式で出力する]で選択したファイルの形式がデフォルトのパラメータになります。[開く]をクリックし、以前に保存したパラメータファイルを読み込むことができます。
- [保存する] (ムービーの保存ダイアログの設定)
設定したパラメータをパラメータファイルとして保存します。

- [種類]

VideoCD (ムービーの保存ダイアログの設定) は音声はVideoCD規格に適合していないと選択できません。

- [プロファイルとレベル]

通常は変更する必要はありません。

□[ビデオビットレート]

- [CBR][VBR]

固定 (CBR) 、または可変 (VBR) ビットレートを選択します。

- [ビットレート]

可変ビットレートの場合は平均ビットレートになります。

- [最大ビットレート]

可変ビットレート選択時の最大ビットレートを設定します。

- [ファイルサイズから計算]

[ビットレート]を指定するのではなく、出力ファイルのサイズを指定し、その値からビットレートを計算し設定します。[メディアから選択]は、DVD、CDの容量に合わせてビットレートを計算します。[値を指定]は、出力ファイルのサイズを数値で指定してそれに合わせてビットレートを計算します。選択した後に、[ビットレートの再計算]をクリックします。

□GOP構造

GOP (Group Of Picture) の設定を行います。(通常は変更する必要はありません。)

- [ピクチャの並び]

ピクチャの並びを、IBBP、IBP、IPP、I Frame Onlyから選択します。

- [ピクチャ枚数]

1個のGOPに含まれるピクチャの数を設定します。1から30までの値が選択できます。

- [ClosedGOP]

チェックを入れると、出力ファイルのGOPがClosedGOP (そのGOPが他のGOPの情報を参照しない) になるようにします。

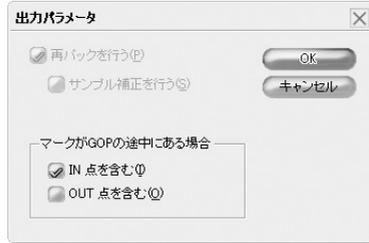
- [画像サイズ][アスペクト比]

MPEG2で出力する場合に設定します。

- ・[変換元画像の縦横比を維持する]

元ファイルと出力ファイルの画像の縦横比が異なる場合でも元ファイルの縦横比を保ったまま拡大／縮小を行います。

■ GOP単位での編集の出力パラメータ



- ・[再バックを行う]

ビデオとオーディオを一旦分離し、再度多重化を行います。

※[再バックを行う]にチェックを入れないと、ストリーム中にダミーデータが残ることがあります。データの内部形式にこだわりがある場合は再バックしてください。

- ・[サンプル補正を行う]

ビデオとオーディオのずれを補正します。

- ・[VideoCD] (ムービーの保存ダイアログの設定)

VideoCD形式で出力します。ただし、入力ファイルがVideoCD規格に合致していない場合は選択できません。

□[マークがGOPの途中にある場合]

GOP単位での編集ではGOPの切れ目でカットします。そのためカットポイントがGOPの切れ目に無い場合はそのカットポイントがあるGOPを含めるかどうかを選択します。

- ・[IN点を含む]にチェックした場合、カットポイントが含まれるGOPの先頭から出力します。チェックしない場合はカットポイントが含まれるGOPの次のGOPの先頭から出力します。
- ・[OUT点を含む]にチェックした場合、カットポイントが含まれるGOPの最後まで出力します。チェックしない場合はカットポイントが含まれるGOPの前のGOPの最後まで出力します。
- ・[記憶] (ムービーの保存ダイアログの設定)
設定を記憶し、次の保存時に自動的に設定をロードします。

DVD 設定ダイアログ



- [出力元フォルダ]
DVDに書き込む一時ファイルの格納フォルダを表示します。
[フォルダをDVDに書き込み]を選択した場合は、ここで以前保存したDVD一時ファイルの[VIDEO_TS]フォルダのフルパスを指定してください。

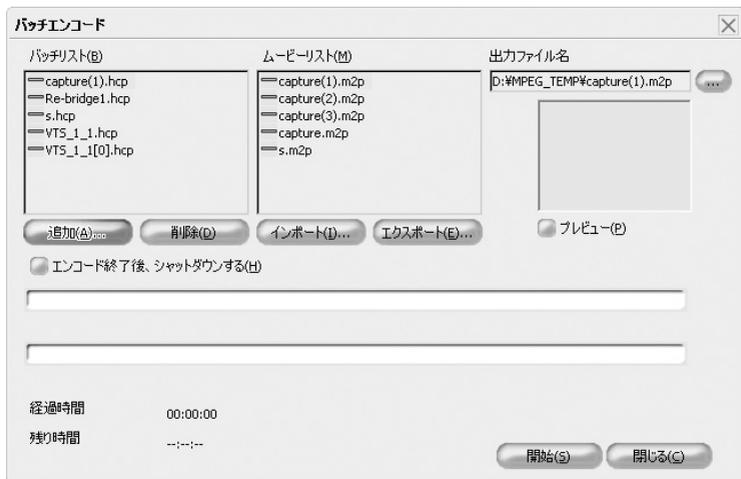
□[DVDの設定]

- [ボリュームラベル]
ディスクのボリュームラベルを設定します。
ボリュームラベルは最大31文字で、使用できる文字は数字の0～9、アルファベットのA～Z (大文字) と_ (アンダーバー) です。そのほかの文字は使用できません。
- [書き込みドライブ]
書き込みに使用するドライブを複数の書き込み可能ドライブから選択します。
- [書き込み速度]
選択されたドライブで可能な書き込みスピードの中から選択します。
- [書き込み前にテスト書き込みを行う]
ディスクに実際に書き込みを開始する前にテストを行い、正常に書き込みが行われるかを確認します。
- [DVDに書き込み後、ファイルを残す]
チェックを入れると、書き込みが終了しても一時ファイルを削除しません。複数のディスクを作成する際にチェックを入れます。

- [メディアの消去]
挿入されたディスクが書き換え可能メディアの場合、データの消去ができます。
- [メディア情報]
ディスクメディアの情報を表示します。
- [メディア占拠率]
書き込むファイルの大きさと、メディア容量の割合を表示します。この数値が100%を超えないようにファイルサイズを調整します。

バッチエンコードダイアログ

バッチエンコードは複数のプロジェクトを一括して順にエンコードしていく機能です。この機能を利用すると、複数のファイルの編集を先に済ませておき、時間のかかるエンコードをパソコンを使用していない時間（夜中など）にまとめて行うことができます。



- **[バッチリスト][追加][削除]**
バッチエンコードするプロジェクトファイルの追加、削除をします。バッチリストの上から順にエンコードが行われます。
- **[ムービーリスト]**
バッチリストのプロジェクト名をクリックすると、そのプロジェクトに含まれるムービーファイルが表示されます。
- **[出力ファイル名][参照]**
出力するムービーのファイル名を表示します。出力先を変更できます。同名前のファイルが存在する場合は、自動的に名前を変更してファイルを出力します。
- **[インポート][エクスポート]**
バッチリストの保存、バッチリストの追加読み込みを行います。
- **[プレビュー]**
チェックを入れ、ムービーリストのムービーをクリックするとプレビューを確認できます。

- **〔エンコード終了後、シャットダウンする〕**
チェックを入れると、バッチエンコード終了後にパソコンをシャットダウンします。
- **〔プログレスバー〕**
エンコードの進捗状況を表示します。上のプログレスバーがバッチリスト全体のエンコードの進捗状況、下のプログレスバーが各プロジェクトのエンコードの進捗状況を表します。
- **〔経過時間〕〔残り時間〕**
バッチエンコードを開始してからの経過時間、バッチエンコードの終了予定時間までの残り時間を表示します。
- **〔開始〕**
バッチエンコードを開始します。

オプションダイアログ

オプションダイアログではMPEGCraft 3 DVDの各種設定を行います。ダイアログ上部のタブをクリックして切り替え、それぞれの項目を設定します。

■表示

編集画面のビューやリストの表示に関する設定を行います。



・ [情報表示]

設定する情報の種類を選択し、表示位置、フォントサイズ等を設定します。[表示する]にチェックを入れると、情報をフレームビューに表示します。[パス名も表示する]にチェックを入れると、フルパスで表示します。

・ [タイムコードの表示]

タイムコードの表示形式を設定します。[フレーム表示]は下二桁にフレーム番号を表示します。[時間表記]は下二桁に時間（単位100分の1秒）を表示します。

・ [ピクチャリスト] [波形表示]

表示方法を設定します。

■出力

オーバーレイや保存時の出力に関する設定を行います。



□[オーバーレイ]

・[出力デバイス]

当社製VideoGate1000等の外部出力ポートにムービーを出力することができます。選択できる出力デバイスは以下の通りです。

ソフトウェア (外部に出力しない)

VideoGate1000

DVStorm-RT

DVRaptor-RT (*サポート対象外となります)

・[アプリケーション切り替え時にオーバーレイを解放しない]

チェックを入れると、アプリケーションソフトウェアの切り替え時の処理速度が速くなります。

※当社製FEATHERなどオーバーレイを使う他のアプリケーションの動作に問題が出る可能性があります。

・[出力時のデフォルト拡張子]

出力時に拡張子を省略すると、ここで設定した拡張子が自動的に付加されます。

「.」(ピリオド)は不要です。

・[静止画]

保存先フォルダ、ファイル名の命名規則を設定します。

■操作



- [キー割り当て]
ショートカットの割り当てを設定します。

■時間



- [選択リスト]
プルダウンリストで表示される時間を設定します。
- [スライダービュー]
スライダービューの[ジャンプ時間設定]ボタンの表示数を設定します。
- [ピクチャリスト]
ピクチャリストの[ダイレクトボタン]を設定します。

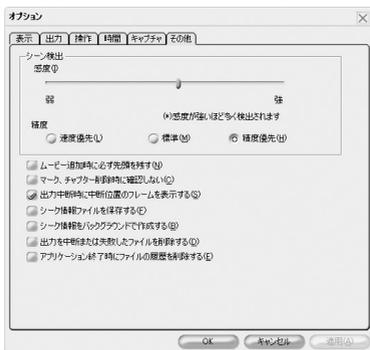
■キャプチャ



- ・【保存フォルダ】

キャプチャ時のデフォルトの保存フォルダを設定します。

■その他



- ・【シーン検出】

シーン検出に関する設定を行います。[感度]を強くするとシーンの変わり目が多く検出されるようになります。[精度優先]を選択すると、シーンの変わり目をより正確に検出することができますが、検出にかかる時間は長くなります。

- ・【ムービー追加時に必ず先頭を残す】

チェックを入れると追加したムービーの先頭にマークを付けます。

- ・【マーク、チャプター削除時に確認しない】

チェックを入れると削除時の確認ダイアログを表示しません。

• [出力中断時に中断位置のフレームを表示する]

ユーザーからの要求もしくはエラーなどによって出力が中断したときに中断位置のフレームを表示します。

• [シーク情報ファイルを保存する]

シーク情報ファイルを保存します。バックグラウンドでシーク情報が蓄積され、その情報を使ってシークを高速化します。

• [シーク情報をバックグラウンドで作成する]

チェックをいれると、バックグラウンドでファイルをアクセスし、シーク情報を作成します。（シーク情報がある場合には、シーク処理が速くなります。）

• [出力中断または失敗したファイルを削除する]

保存フォルダから自動的に削除します。

• [アプリケーション終了時にファイルの履歴を削除する]

[最近使ったムービー][最近使ったプロジェクト]の履歴を削除します。



第4章

MPEGファイルへ変換しよう

～ to MPEG Tool ～

本章では、DV形式のデータをMPEG形式へ変換したり、MPEGファイルを再変換することができる「to MPEG Tool」について説明します。

- 4-1 注意事項
- 4-2 DV形式をMPEG形式へ変換する
- 4-3 MPEGファイルの映像と音声を分離する
- 4-4 MPEGファイルの映像と音声を多重化する

4-1 注意事項

使用できるファイル

- 映像：Canopus DV、Microsoft DV、MPEG1、MPEG2
- 音声：MPEGオーディオ、WAVE、MP3オーディオ

制限事項

- お使いのパソコンのHDDフォーマットがFAT32の場合、4GB以上のファイルは出力できません。
- Dolby Digitalは未対応です。

注意事項

- MPEGの性質上、変換できないファイル、音と映像のずれが大きくなるファイルがあります。
- MPEGファイルの状態によっては音ずれが発生する場合があります。本製品で「サンプル補正」にチェックを入れて分離したエレメンタリストリームでお試ください。
- MPEG1をMPEG2に変換しても、画質は向上しません。

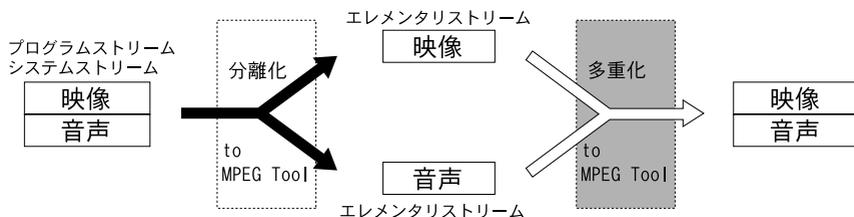
分離化と多重化とは

プログラムストリーム、またはシステムストリームに含まれる映像と音声を分離し、エレメンタリストリームを作成することを「分離化 (DeMultiplex)」といいます。

反対に、映像のエレメンタリストリームと音声のエレメンタリストリームを1つのストリームの中に配置し、プログラムストリーム、またはシステムストリームを作成することを「多重化 (Multiplex)」といいます。

Check!

「6-2 用語解説」の「MPEGストリーム形式」P108



4-2 DV形式をMPEG形式へ変換する

ここでは、DV形式ファイルの映像をMPEG形式へ変換する方法を説明します。MPEGファイルの再エンコードも同じ手順で行います。

- 1** デスクトップにある「to MPEG Tool」のショートカットをダブルクリックします。

→ to MPEG Tool が起動します。



- 2** [ビデオファイルを開く]をクリックします。

→ ファイルを開くダイアログが表示されます。



- 3** ファイルを選択し、[開く]をクリックします。



知識

デスクトップにショートカットを作成していない場合は、[スタート]メニューから[すべてのプログラム]へ進み、[Canopus] → [MPEGCraft 3 DVD] → [to MPEG Tool]をクリックしてください。

4 必要に応じて[開始位置] (In点)、[終了位置] (Out点) を設定します。



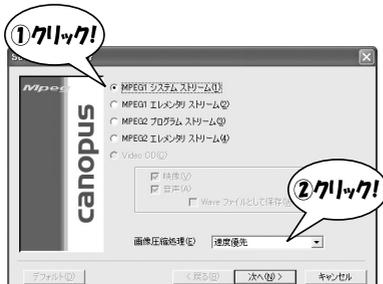
5 エンコーダを選択し、[エンコード]をクリックします。

→ MPEG形式を設定するダイアログが表示されます。



クリック!

6 変換したいMPEGファイルの形式にチェックを入れ、画像圧縮処理方法を選択します。



<MPEG1システムストリームを選んだ場合>

注意

In点とOut点は、複数設定できません。



知識

In点 (またはOut点) を設定するには、フレーム番号を直接入力するか、スライダのカーソルを動かして設定する画面を表示し、**in** (または **out**) をクリックします。



知識

当社製MTVシリーズ、またはStormEncoderをお持ちの場合は、これらを選択することができます。



知識

エレメンタリストリームを選択した場合、音声と映像をそれぞれ単独で出力することができます。

7 [次へ]をクリックします。

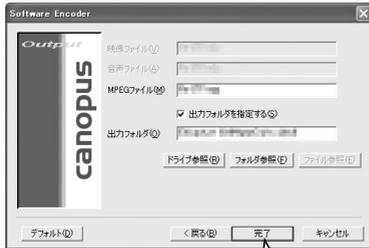
→ この後は、手順6で選択したMPEGファイル形式によって表示される画面が異なります(画質設定、音質設定等)。エンコードの設定が終了すると、最後に出力ファイルを設定するウィンドウが表示されます。



クリック!

8 出力ファイル名を設定し、[完了]をクリックします。

→ 変換を開始します。



クリック!

9 変換が完了すると次の画面が表示されますので、[完了]をクリックします。



クリック!

Check!

各画面の詳細は[ヘルプ]メニューの[ヘルプ]を参照してください。

知識

出力先を設定する場合は、[出力フォルダを指定する]にチェックを入れて設定してください。

4-3 MPEGファイルの映像と音声を分離する

ここでは、MPEGファイルの映像と音声を分離する方法について説明します。
映像をトリミングして結合・分離したり、MPEGファイルのエンコード形式を変更する場合は、「4-2 DV形式をMPEG形式へ変換する」P91を参照してください。

1 デスクトップにある「to MPEG Tool」のショートカットをダブルクリックします。

→ to MPEG Tool が起動します。



ダブル
クリック!

知識

デスクトップにショートカットを作成していない場合は、[スタート]メニューから[すべてのプログラム]へ進み、[Canopus] → [MPEGcraft 3 DVD] → [to MPEG Tool]をクリックしてください。

2 [ビデオファイルを開く]をクリックします。

→ ファイルを開くダイアログが表示されます。



3 変換するファイルを選択し、[開く]をクリックします。



- 4** [分離]をクリックします。
→ DeMux ダイアログが表示されます。



- 5** [参照]をクリックし、それぞれのファイル名と保存場所を設定してから[分離]をクリックします。
→ 映像と音声の分離を開始します。



→ 分離が完了するとメッセージが表示され、[再生]が有効になります。



! ご注意

[開始位置]と[終了位置]は出力結果に反映されません。

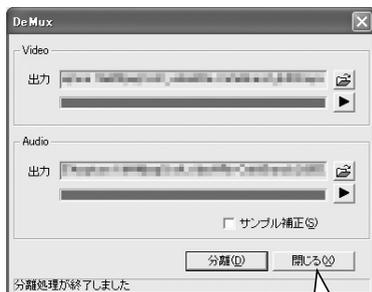
! ご注意

映像と音声が入ったまとめられたファイル (MPEG1、MPEG2など) の場合は、[サンプル補正]にチェックを入れてください。

📖 知識

結果を確認したいときは、[再生]をクリックしてください。ただし[再生]は、出力ファイルの拡張子とプログラムがOSで関連付けられていないと動作しません。

6 [閉じる]をクリックし、to MPEG Toolウィンドウの[閉じる]をクリックします。



→ 分離は、これで完了です。

4-4 MPEGファイルの映像と音声を多重化する

ここでは、MPEGファイルの映像と音声を多重化する方法について説明します。

1 デスクトップにある「to MPEG Tool」のショートカットをダブルクリックします。

→ to MPEG Tool が起動します。



2 [ビデオファイルを開く]をクリックします。

→ ファイルを開くダイアログが表示されます。



3 多重化するビデオファイルを選択し、[開く]をクリックします。

→ [オーディオファイルを開く]が有効になります。



知識

デスクトップにショートカットを作成していない場合は、[スタート]メニューから[すべてのプログラム]へ進み、[Canopus] → [MPEGCraft 3 DVD] → [to MPEG Tool]をクリックしてください。

ご注意

映像ファイルと音声ファイルはほぼ同じ再生時間のファイルを使用してください。再生時間が大きく異なる場合は、環境によって再生できないことがあります。

知識

[ファイルの種類]で[MPEGビデオファイル]を選択すると、MPEG形式のビデオファイルのみが表示されます。

- 4** [オーディオファイルを開く]をクリックします。
→ ファイルを開くダイアログが表示されます。



- 5** 多重化するオーディオファイルを選択し、[開く]をクリックします。
→ [多重化]が有効になります。



- 6** [多重化]をクリックします。
→ Mux ダイアログが表示されます。



! ご注意

ビデオファイルを選択しないとオーディオファイルを選択できません。

知識

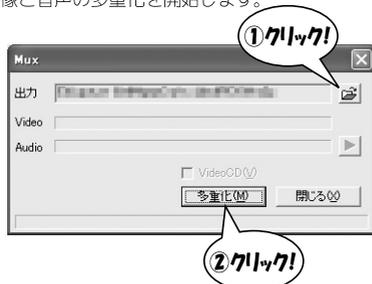
[ファイルの種類]で多重化するオーディオファイルの形式を選択すると、該当する形式のオーディオファイルのみ表示されます。

! ご注意

- ビデオファイルとオーディオファイルを設定していないと、[多重化]はクリックできません。
- [開始位置]と[終了位置]は出力結果に反映されません。

7 [参照]をクリックし、ファイル名と保存場所を設定してから[多重化]をクリックします。

→ 映像と音声の多重化を開始します。



→ 多重化が完了するとメッセージが表示され、[再生]が有効になります。



知識

結果を確認したいときは、[再生]をクリックしてください。ただし[再生]は、出力ファイルの拡張子とプログラムがOSで関連付けされていないと動作しません。

8 Muxダイアログの[閉じる]をクリックし、to MPEG Toolの[閉じる]をクリックします。



クリック!



クリック!

→ 多重化は、これで完了です。



第5章

MPEGファイルの情報を確認しよう

～HomeEdge Explorer～

本章では、MPEGファイルの情報を確認したり、簡易再生することができる「HomeEdge Explorer」について説明します。

5-1 注意事項

5-2 MPEGファイルの詳細を確認する

5-1 注意事項

表示できるファイル

初期設定

- ・映像：AVI、MPEG1、MPEG2

音声：mp3

*表示できるファイル形式は任意で設定することができます。[ファイル]メニューの[オプション]にある[拡張子]タブで拡張子を登録してください。

注意事項

- ・フォルダ、およびファイルの変更内容が一覧に反映されないことがあります。
- ・ショートカットを表示する場合は、拡張子「LNK」を追加登録してください。

5-2 MPEGファイルの詳細を確認する

ここでは、MPEGファイルの詳細情報を確認したり、MPEGファイルを簡易再生する方法を説明します。

1 デスクトップにある「HomeEdge Explorer」のショートカットをダブルクリックします。

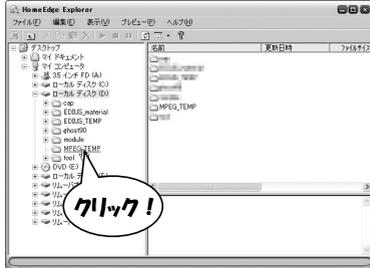
→ HomeEdge Explorerが起動します。



ダブル
クリック!

2 ツリーウィンドウで、ファイルが入っているフォルダをクリックします。

→ 一覧ウィンドウにフォルダ内のファイルが一覧表示されます。



3 一覧ウィンドウで、情報を確認したいファイルをクリックします。



知識

デスクトップにショートカットを作成していない場合は、[スタート]メニューから[すべてのプログラム]へ進み、[Canopus]→[MPEGcraft 3 DVD]→[H-E Explorer]をクリックしてください。

知識

ファイル形式によって表示される情報の項目が異なります。

→ クリックしたファイルの詳細情報が、詳細情報ウィンドウに表示されます。



4 映像を簡易再生するには、▶または[プレビュー]メニューの[再生]をクリックします。

→ 映像が再生されます。



知識

プレビューウィンドウが表示されていないときは、[プレビュー]メニューの[プレビューウィンドウ]にチェックを入れます。ツリーウィンドウ下部にプレビューウィンドウが表示されます。



第 6 章

付録

本章では、本製品で扱うことができるファイル形式の拡張子や、本マニュアルで使用している用語について解説しています。

- 6-1 拡張子一覧
- 6-2 用語解説
- 6-3 ショートカット一覧
- 6-4 FAQ

6-1 拡張子一覧

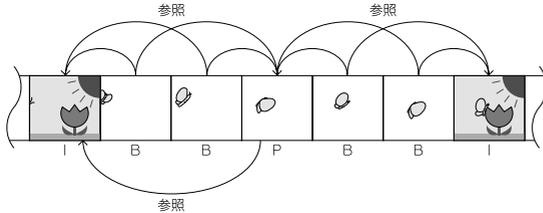
ファイル名末尾に付加されている「拡張子」について説明しています。

	拡張子	ファイル形式
フ ア イ ル 化	.mpg	MPEG1システムストリーム
	.m2p	MPEG2プログラムストリーム
	.m2t	MPEG2トランスポートストリーム
	.avi	Canopus DV、Microsoft DV 等
フ 映 画 画 像	.mpv	MPEG1ビデオファイル (MPEG1エレメンタリストリーム)
	.m2v	MPEG2ビデオファイル (MPEG2エレメンタリストリーム)
フ 音 ア イ ル 声	.mpa、.m2a	MPEG1オーディオファイル (MPEG1エレメンタリストリーム)
	.mp3	MP3オーディオファイル
	.wav	WAVEファイル

6-2 用語解説

GOP (Group of Pictures)

MPEGはデータを変換するとき、前後のピクチャ（フレーム）を参照して動きのある部分だけを抜き出し、それを圧縮することでデータサイズを低く抑えています。



- I ピクチャ
基準フレーム。どのピクチャも参照しない。
- P ピクチャ
過去にあるI ピクチャ（またはP ピクチャ）を参照し、動きのある部分のみを抜き出し圧縮する。
- B ピクチャ
I ピクチャとP ピクチャの間にあるピクチャ。前後にあるI ピクチャとP ピクチャを参照し、動きのある部分のみを抜き出し圧縮する。

上記3種類のピクチャで構成されている1つの固まりを「GOP」と呼んでいます。

MPEG

デジタル動画を圧縮する技術。前後のフレームを参照し、変化のある部分のみ圧縮して記録することにより、データサイズを圧縮しています。

- MPEG1
家庭用のVHS程度の品質をサポートしています。CD-ROMに記録するのに最適な形式です。
- MPEG2
テレビ映像やハイビジョン程度の品質をサポートしています。DVD-Videoなどに記録するのに最適な形式です。



知識

同じビットレートの映像の場合は、Bピクチャが多いほど画質が向上します。

MPEG ストリーム形式

AVI ファイルを MPEG ファイルに変換する、または MPEG ファイルを再エンコードする場合、ストリーム形式を選択することができます。

- エレメンタリストリーム

映像だけ、または音声だけのデータで作られたファイルです。

- システムストリーム

映像と音声を多重化し、1 つにまとめた MPEG 1 ファイルです。タイムスタンプで映像と音声の同期がとられています。

- プログラムストリーム

映像と音声を多重化し、1 つにまとめた MPEG 2 ファイルです。タイムスタンプで映像と音声の同期がとられています。

- トランスポートストリーム

MPEG2 で圧縮された映像・音声などのデータを固定長に分割した伝送フォーマットのことをいい、BS デジタル、CS デジタル、地上波デジタル放送など、多くのデジタル放送システムで使用されています。

エンコード

AVI ファイルを MPEG ファイルに変換したり、MPEG ファイルのビットレートやストリーム形式などのパラメータを変更して再変換すること。

サンプリングレート

1 秒間に何回音声信号を記録するか、という数値のこと。数値が高いほど音質が向上します。

下記のデータを作成する場合は、使用できるサンプリングレート値が決まっています。

Video-CD や音楽 CD : 44.1kHz

DVD-Video : 48kHz

タイムスタンプ

ファイルが作成された日や、修正された日など、ファイルに付けられる日付データのこと。

ご注意

MPEG 変換の際、左記のサンプリングレート以外の数値で各データを作成すると、映像と音声がずれる場合があります。

パターンファイル

マークが設定されている位置情報だけを保存したファイルのこと。

同じようなマークの設定をするファイルを複数編集する場合などに有効です。

ビットレート

1秒間に処理されるデータの量のことで、ビットレートの値が高いほど高画質（高音質）になります。

フレームレート

クリップの動画データは、複数の静止画を同じ場所に次々と表示させることで動画として認識されています。その1枚の静止画のことをフレームと呼んでいます。

フレームレートとは、1秒間に表示されるフレームの数です。一般的に日本で放送されているテレビ番組のフレームレートは、「29.97fps」です。



知識

“バラバラマンガ”と同じ理屈です。



6-3 ショートカット一覧

ファイル操作

Ctrl + A	ムービーを追加
Ctrl + B	バッチリストに追加
Ctrl + N	新規プロジェクト
Ctrl + O	プロジェクトを開く
Ctrl + S	プロジェクトの保存
Ctrl + T	静止画の保存
Ctrl + W	ムービーファイルの保存
Shift + Ctrl + S	名前をつけてプロジェクトを保存

編集

Ctrl + Delete	すべてのマークを削除
Ctrl + Y	やり直す
Ctrl + Z	元に戻す
Delete	マークの削除
Insert	先頭を残す
Shift + Space	チャプターの設定、解除
Space	マーク設定、解除

編集位置

→	次のフレームへ移動
←	前のフレームへ移動
Ctrl + →	指定時間進む
Ctrl + ←	指定時間戻る
Ctrl + J	指定時間にジャンプ
Ctrl + PageDown	次のシーンへ移動
Ctrl + PageUp	前のシーンへ移動
End	最終フレームへ移動
Home	先頭フレームへ移動
PageDown	次のマークへ移動
PageUp	前のマークへ移動
Shift + →	次の GOP へ移動
Shift + ←	前の GOP へ移動
Shift + PageDown	次のチャプターへ移動
Shift + PageUp	前のチャプターへ移動

タイムライン操作

Ctrl + -	タイムラインの表示領域を縮小
Ctrl + +	タイムラインの表示領域を拡大
Ctrl + Shift + ↑	フォーカスをカレントマーカに移動
Ctrl + Shift + →	フォーカスを最も近い次のマークに移動
Ctrl + Shift + ↓	フォーカスを最も近いカレントマーカに移動
Ctrl + Shift + ←	フォーカスを最も近い前のマークに移動
Ctrl + Shift + Tab	フォーカスを前のマークに移動
Ctrl + Tab	フォーカスを次のマークに移動

ジャンプ

Ctrl + ↑	ジャンプ時間 小さくする
Ctrl + ↓	ジャンプ時間 大きくする
Ctrl + Pad1	ジャンプ時間 設定 1 (1 フレーム)
Ctrl + Pad2	ジャンプ時間 設定 2 (GOP)
Ctrl + Pad3	ジャンプ時間 設定 3 (1 秒)
Ctrl + Pad4	ジャンプ時間 設定 5 (15 秒)
Ctrl + Pad5	ジャンプ時間 設定 7 (1 分)
Ctrl + Pad6	ジャンプ時間 設定 8 (90 秒)
Ctrl + Pad7	ジャンプ時間 設定 9 (2 分)
Ctrl + Pad8	ジャンプ時間 設定 10 (5 分)
Ctrl + Pad9	ジャンプ時間 設定 11 (10 分)

6-4 FAQ

最新情報は、こちら (http://www.canopus.co.jp/tech/faq/faq_top.htm) を参照してください。

Q 映像やDVDメニューが表示されない、または表示が乱れる。

A 本製品を使用するにはDirectX8以上が必要です。DirectXのバージョンを確認してください。また、お使いのビデオカードのドライバーを最新版へ更新することで問題が解決する場合があります。

Q 再生ボタンが押せない、または「オーバーレイを使用できません」と表示される。

A ビデオカードのオーバーレイ機能が使用できない環境です。お使いのビデオカードがオーバーレイ機能をサポートしているか確認してください。Windowsの画面サイズや、色数を小さくすることで問題が解決する場合があります。また、お使いのビデオカードのドライバーを最新版へ更新することで問題が解決する場合があります。

